

海外留学の手引き 2026

Student Guide to Study Abroad 2026



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



CONTENTS

海外留学の手引き 2026
京都大学

- 2 留学のロードマップ
- 3 留学のファーストステップ
- 5 留学までのタイムテーブル
計画を立てる／情報収集／教育機関を選ぶ／出願／
合否通知・入学手続／渡航手続／留学生活／帰国
- 10 奨学金を利用する
- 11 日本にいる間に準備したいこと
留学生と交流しよう／説明会に参加しよう／
ピアチューター／海外拠点や関連団体を活用しよう
- 13 語学力を高めよう
国際高等教育院の留学支援／語学能力試験について

- 14 トラブルに巻き込まれないために
渡航前／留学中／帰国後／海外旅行保険に入ろう

- 16 短期留学プログラムとは
自分にあったプログラムを探してみよう！

- 20 交換留学について、もっと知ろう
学内選考について／出願から帰国まで／交換留学の費用
学部別スケジュール
- 26 交換留学の Q&A

- 28 留学経験者体験談

- 34 国際高等教育院国際教育プログラムについて

- 35 大学間学生交流協定一覧
- 39 部局間学生交流協定一覧
- 43 ダブル・ディグリー、ジョイント・ディグリー協定一覧

- 44 海外での危機発生時連絡フロー
- 45 留学関連リンク集

留学最新情報は
ココをチェック！

京都大学海外留学情報ポータルサイト
<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/>



📄 KULASIS「全学生向け共通掲示板」
Information の[分類選択]で
「留学」を選択



留学のロードマップ

留学への「意識」が芽生えたら

フェアに
参加してみよう

国際交流
してみよう



- ・将来のキャリア目標などを考え、留学目的を具体化しよう
- ・大学内にあるパンフレットや資料など情報を集めよう
- ・まずは短期のプログラムに参加するのもオススメ



準備を始める

相談してみよう

語学に真剣に
取り組もう



- ・資金計画を練ろう
- ・語学能力試験対策



出願する教育機関を選ぶ

奨学金に
応募しよう



- ・自分に合った教育機関を選ぼう
- ・学内選考(交換留学)



出願する



- ・出願書類を提出しよう
- ・留学志願先での受入審査



留学手続き・出発準備



- ・ビザの申請や留学生保険の申し込みなど、留学手続きを行おう

必要な手続きを
確認しよう

現地の
ネットワークを
作ろう



留学

- ・留学生活を始める



帰国・卒業

- ・経験を生かして後輩や留学生をサポートしよう



留学 の ファーストステップ

留学のスタイルを知る

海外留学を思い立ったら、まずどのような留学がしたいか考えてみましょう。「語学力を伸ばしたい」「海外を経験したい」「師事したい教授がいる」「研究に必要な資料が豊富にある」。各自の目的によって、留学の期間や行き先、留学の形態は異なってくるでしょう。まずはそれぞれの留学にどんな特徴があるかを把握し、自分の目的に沿った行き先や留学の形態を決めましょう。

● 交換留学

休学せずに、京都大学の協定校に1学期以上、1年以内の期間、派遣先大学の授業料は不徴収で就学することができる留学です。多くの場合、実際の出発の1年以上前に学内募集に応募する必要がありますので、周到な準備が必要です。

● 語学留学

専門の語学学校や大学等の教育機関が実施するものなどがあり、期間は数週間から1年以上のものまであります。大学生協や京都大学でも、語学研修プログラムを扱っています。個人で手配、または斡旋業者を通じて申し込む方法もあります。

● 短期留学

休暇を利用または休学して、学位をとらずに海外の大学や研究機関で学ぶ留学です。京都大学で実施しているプロ


グラムをはじめ、指導教員の紹介によるもの、個人で手配するもの、斡旋業者に依頼するものなどがあります。海外の大学では、留学生を対象にしたサマープログラムも開催しています。単位をもらえる場合もありますが、留学先大学および京都大学の所属学部・研究科のシステムによるので、確認が必要です。

● 一般私費留学

京都大学を卒業後あるいは休学して、海外の大学へ入学したり、大学院へ進学したりする留学です。

● 大学院留学

海外の大学院で学位を取得する場合、学部生とは異なった十分な準備が必要です。また高い語学力やGPAも求められます。学位を取得する目的で大学院留学を志望する京都大学学生は、JASSO海外留学支援制度(大学院学位取得型)に、個人で応募することができます。

 JASSO海外留学支援制度(大学院学位取得型)について

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/daigakuin/index.html



さまざまな留学のメリット・デメリット

※留学の特徴や内容はプログラムによって大きく異なります。下記はあくまで参考程度としてください。

留学の種類	留学時期	必要語学力	単位	休学	😊メリットと😞デメリット
交換留学			可能	不可	😊長期間留学できる・授業料不徴収 😞準備に時間がかかる
語学留学	 		不可	可能	😊気軽に留学できる 😞私費で行く必要がある
短期留学(京都大学のプログラム)			一部可能	不可	😊気軽に留学できる 😞自由度が少ない
短期・長期留学(一般私費留学)	 		一部可能	可能	😊選択肢が広い 😞お金がかかる
大学院留学			—	—	😊学位を取得できる 😞周到な準備が必要
ダブル・ディグリー、ジョイント・ディグリー			可能	不可	😊学位を取得できる 😞プログラムが限られている
インターンシップ留学	 		一部可能	可能	😊職業経験を積むことができる 😞十分なコミュニケーション力が必要
国際ボランティア留学	 		不可	可能	😊社会貢献ができる 😞良質な仲介団体を見つける必要がある

 休暇を利用して留学！  学期中に留学！  休学して留学！  卒業後に留学！

●ダブル・ディグリー P43

ダブル・ディグリー(デュアル・ディグリーともいう)とは、日本の大学と海外の大学が、教育課程の実施や単位互換等を連携して行い、双方の大学の学位を授与するというプログラムです。

●ジョイント・ディグリー P43

ジョイント・ディグリーとは、複数の教育機関が連携して教育課程を実施し、学位を授与するというプログラムです。

●インターンシップ留学

海外の企業や団体で一定期間働き、職業経験と海外での社会経験を積む留学です。斡旋団体は、団体の実績や費用等を他団体と比較するなどして、十分な調査を行った上で決定してください。京都大学で推奨しているプログラムもあります。

主に文系の学生のためのAIESEC(アイセック)、主に理系の学生のためのIAESTE(イアエステ)という学生支援団体があります。また、日欧産業協力センターによる、日本の理工系学生を対象とした1年間の奨学金付プログラム(ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ)などもあります。

 アイセック・ジャパン <https://aiesec.jp/>

 IAESTE JAPAN <https://www.iaeste.or.jp/>

 日欧産業協力センター <https://www.eu-japan.eu/>

 JICAインターンシップ・プログラム

<https://www.jica.go.jp/about/recruit/intern/index.html>

 青年海外協力隊

<https://www.jica.go.jp/volunteer/application/long/>

●国際ボランティア留学

社会貢献などのための留学です。斡旋団体の主旨、歴史、実績などを十分に考慮して選びましょう。京都大学で推奨しているプログラムもあります。

 国連ボランティア計画(UNV) <https://unv.or.jp/>

 日本ワーキング・ホリデー協会

<https://www.jawhm.or.jp/>

! 留学斡旋業者を利用する場合、業者の選定は慎重に行ってください。また斡旋業者によってサービス内容が異なりますので、どのようなサービスを受けられるのか、事前によく確認してください。

留学相談窓口

●国際教育交流課の相談窓口

留学を考えたら、まずは国際教育交流課の相談窓口を訪ねてみましょう。京都大学(国際教育交流課)が主催する留学プログラムの最新情報や詳細について知ることができます。

■開室時間: 平日9時~17時

✉ koryusien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

(短期留学プログラムについて)

✉ outbound.exchange@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

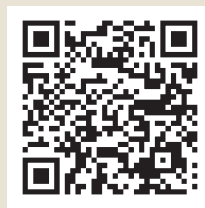
(交換留学について)



●教員の相談窓口

大学院留学やキャリア形成などについて、京都大学教員に相談することもできます。

相談内容例: MBA留学、キャリア形成、米大学院留学、中国・香港・台湾留学など



留学相談については、
こちらを参照



LINE公式アカウント



留学までのタイムテーブル

準備には最低1年半以上

参考例として、交換留学、一般私費留学(大学院留学・学部留学)、語学留学のためのタイムテーブルを示します。ただし、留学先の国・機関、留学方法、留学時期などにより、準備期間や審査時期等には差があります。下記を参考に、必ず自分自身の状況を確認して計画を立てましょう。

計画を立てる

留学の動機・目的・国や地域・時期を決定するだけでなく、語学能力試験の受験、カタログの請求、留学先の情報収集、費用の準備等、留学には相当の準備期間が必要です。大学・大学院は1年半以上、語学学校は半年以上必要です。十分な準備期間を確保し、出発時期も余裕を持って決めましょう。

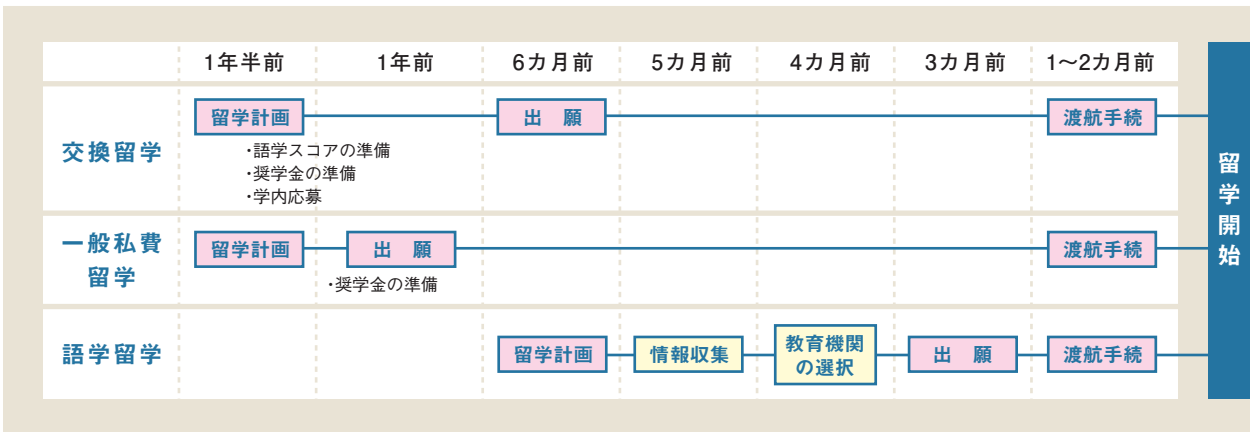
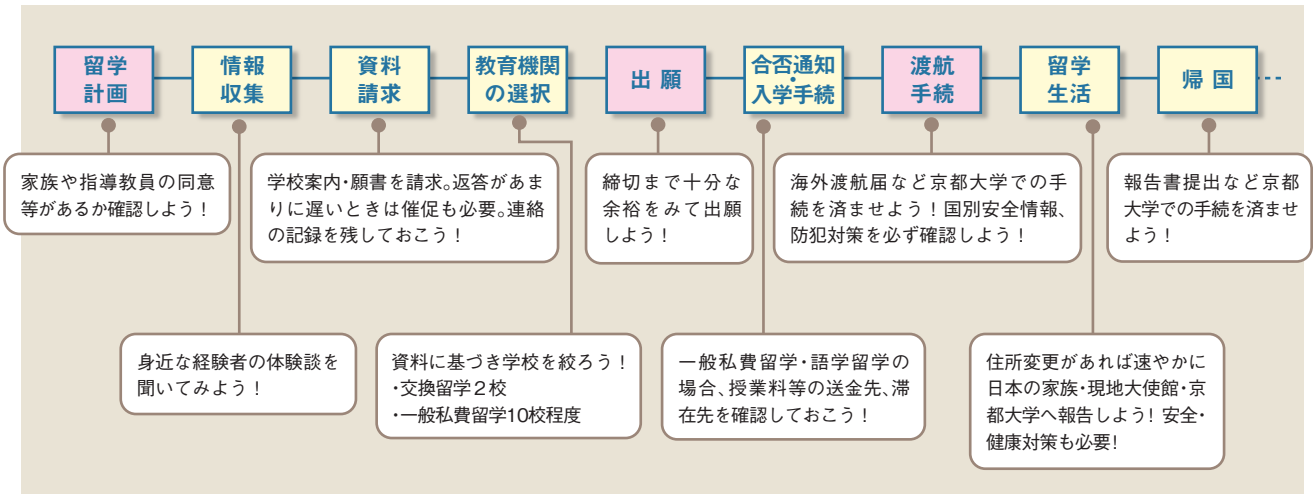
情報収集

日本学生支援機構(JASSO)、各国大使館等、留学フェア、インターネット、情報誌等で、行き先や奨学金の情報を集めたり、いろいろな大学のウェブサイトを開覧、比較したりしてみましょう。多くの大学でウェブサイトから情報を入手できます。

教育機関を選ぶ

海外には多くの大学があり、そのなかから留学先として満足のいく大学を1校だけ選ぶのは至難の業です。教育機関を選ぶ上で確認すべき情報として、次のポイントがあります(次ページ参照)。

留学の流れ



教育機関選びの基礎チェック

[留学先の国の教育制度について]

- 入学に必要な学歴は？
日本の高校卒業後すぐには現地の大学への入学資格が得られない国もあります。
- 修業年限、修得できる単位や資格は？
国・専攻により異なります。
- 学年暦・学期制は？
入学時期が日本と異なる国も多いです。

[教育機関について]

- その国での公的な認定を受けているか？
非認定校では、ビザが取得できなかったり、進学・転学・就職の際にデメリットがある国もあります。
- 入学に必要な学力・語学力は？
TOEFLなどの語学能力試験のスコア提出が必要な場合があります。
- 学費・生活費はいくらか？
自国の学生と外国人留学生で学費が異なる国もあります。
- 出願・手続方法は？
締切日前でも応募が定員に達すれば募集を打ち切る場合もあります。
- 環境、施設、住居、保険、各種相談先は？
留学先校が紹介してくれる場合もあります。

[入国・滞在に必要な手続き]

- ビザ取得は必要か？
- 保証人・健康診断・予防接種等は必要か？
渡航先や教育機関によって異なるので、必ず情報を確認しておきましょう。

以上のことを確認した上で、出願校を絞り込む必要があります。希望の条件がすべてかなうことは非常に難しいので、自分が留学に求める条件をよく吟味し、優先順位をつけましょう。

絞り込みのポイント

[専攻分野]

自分の希望する専攻分野に関するプログラムが充実している学校を調べます。

[学位について]

一般留学で学位等の取得を目的とする場合は、どのような種類の学位や資格を目的とするかを決め、それが日本のどの学位に当てはまるのかを確認することが重要です。一般留学で学位等の取得を目的としない場合には、non-degree student、visiting student といった在籍身分がありますが、その際の入学資格、日本の大学等との単位互換の可能性などを調べる必要があります。なお、交換留学の場合は、派遣先大学の学位は取得できません。

[設置基準や認定状況]

日本の大学はすべて、文部科学省(国)によって高等教育機関として認定されていますが、認定のシステムは留学先の国によって異なります。留学後の進学や就職、転校、転部等の際に、留学先で修得した単位や学位が十分に評価されるよう、希望校の設置基準や認定状況に注意してください。

[学習環境等]

教育機関のタイプ(教育中心か研究中心か)、学生総数、設置区分(公立か私立か)、所在地域の環境・治安、留学生アドバイザー・語学補習プログラムの有無などの条件があります。

[住まい]

学校に寮があるのか、宿舍情報の提供があるか、アパートやホームステイが可能かなどを事前に確認する必要があります。

[費用]

学費、生活費、その他の必要経費は、留学の種類、留学期間、国や地域、個人の生活レベルによって異なります。大体の条件を決め、経費を計算してみましょう。日本での準備費用には、日本で加入しておく海外旅行保険、渡航費、一時宿泊費、旅券申請費、語学能力試験費などがあり、渡航先での費用には授業料、教科書・文具費、住居・食費、現地医療保険、雑費等があります。生活費はその国の物価やそのときのレートによって異なります。

出 願

希望校を決定したら、出願に必要な手続きや書類を確認し、出願書類を準備しましょう。多くは書類提出や事前のテスト結果等による書類審査なので、自己の能力や資質などを出願書類上で可能な限りアピールできるよう工夫しましょう。

願書の締切日は必ず確認し、余裕を持って出願してください。また出願書類は全て控えをとり、送付日を記しておくことをおすすめします。本学の留学プログラムに参加する学生は、参加に当たって親族の同意が必要です。帰国後の進路に関しても、留学前に指導教員と十分な相談をしましょう。

【出願書類の一例】

- 願書* ○財政能力証明書* ○申請料*
- 英文成績証明書 ○語学力証明書
- 英文推薦状(複数必要な場合も)
- 志望動機書・研究計画書 ○履歴書(CV)
- 英文卒業(在学)証明書
- 英文健康診断書

※語学留学の場合は*の3点のみが一般的。
 ※英文成績証明書や英文卒業(在学)証明書は自動発行機から発行できます。

Kyoto University

April xx, 20xx

School of xxx
 xxx University
 xxxxxxxxxxx, xxxx

Dear Sir / Madam,

Sincerely,
 (推薦者の自筆署名)
 xxx xxx
 Professor
 Faculty of xxx, Kyoto University

英文推薦状の例

Hanako Kyodai
 xxxxxxxxxxx, xxxx
 tel:+81-xxx-xxxx
 E-mail:xxx@xxx

PERSONAL DATA
 xxxxxxxx
 xxxxxxxx

EDUCATION
 xxxxxxxx
 xxxxxxxx

LANGUAGE COMPETENCE
 xxxxxxxx
 xxxxxxxx

QUALIFICATION
 xxxxxxxx
 xxxxxxxx

OTHERS
 xxxxxxxx
 xxxxxxxx

履歴書(CV)の例

●書類審査での注意点

多数の書類から候補者を選ぶ担当者にとって、見づらい書類は評価がしにくく、結果的に不利になる場合があります。心して書類を準備しましょう。

書類の校正:まずコピーで下書きし、原本に清書するのが最善策です。わかりやすさ・見やすさなどの体裁も重要です。乱雑なもの、誤字・訂正の多いものは、いい加減な内容に見えてしまいます。

志望動機書:アルファベットを使用する国では、手書きではなく適切なフォントで文字入力するよう求められることがほとんどですが、印刷した紙の末尾に、本人の直筆で署名と日付を入れましょう。署名は日本語でもアルファベット(筆記体)でもかまいません。

締 切:願書締切は、全ての候補者に公平に課せられた最初の関門です。関連書類の準備にかかる時間、郵便事情、不慮の出来事など、予測できないことは常に存在します。不測の事態に影響を受けないように、全ての書類が締切前に届くように準備することが鉄則です。どのような事情があっても、締切に遅れると不利益を受けるのは仕方がないと考えてください。

合否通知・入学手続

予定時期に通知が届かなければ、直接学校に審査状況を問い合わせましょう。志望校から合格通知が届いたら、同封されているものを確認し、入学受諾の返事をしなければなりません。入学する意志のない学校には、速やかに入学辞退を知らせるのが礼儀です。

合格通知の内容は、入学許可書、授業料の請求書、宿泊施設の案内などです。特に入学許可書は、学生ビザの申請時に必要となりますので、自分の名前、コース受講期間など、記載事項に誤りがないかを確認してください。そして各書類に記されている指示に従って、指定期日までに必要な手続を完了させましょう。

GPAについて

GPA (Grade Point Average) 制度は、米国を中心に諸外国で一般的に導入されている成績評価方法です。京都大学では、平成28年度以降に入学した学生を対象としたカリキュラムが適用される学部生を対象として、GPA制度を導入しています。

下記の表に基づき成績評価をグレード・ポイント(GP)に変換し、GPAを求めます。

評語	A+	A	B	C	D	F
GP	4.3	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

$$GPA = (4.3 \times A + \text{修得単位数} + 4.0 \times A + \text{修得単位数} + 3.0 \times B + \text{修得単位数} + 2.0 \times C + \text{修得単位数} + 1.0 \times D + \text{修得単位数}) \div \text{履修総単位数}$$

渡航手続

渡航に必要な諸手続は、以下の項目を参考に効率よく行いましょう。

●海外渡航届

所属学部・研究科の教務担当掛に海外渡航届等を提出する必要があります。出発前に所属学部・研究科の規則に従い、必ず各種届出を済ませてください。

●パスポート(旅券)

パスポートは早めに取得しましょう。パスポートを持っているからといって安心せずに、必要な有効期間が残っているか必ず確認してください。渡航先によって異なりますが、有効期間が留学期間プラス6カ月必要な場合もあります。更新手続きは、原則として有効期限の1年前から可能です。

●ビザ(査証)

必ず学生ビザを取得してください。国によって、ビザの要・不要、必要書類、発行までに要する時間、申請手数料などが異なります。また、ビザ発行の規定も予告なく変更されることが多いため、必ず直接関連機関に問い合わせ、余裕を持って手続を行いましょう。

●航空券

1年間帰国する予定のない人は、帰国日の変更が可能なオープンチケットを利用できます。学校開始日より少し早めに渡航し、滞在先や学校周辺の様子を把握するなど、現地の生活に慣れることも重要です。

●荷物

出発当日の荷物は必要最小限にし、動きやすい服装で出発しましょう。日本語と現地語の辞書類、ガイドブックなどを持って行くと便利です。当座必要な身の回り品や薬品類等は携行し、それ以外は別送や現地調達が賢明でしょう。荷物は、郵便局や運送会社から船便や航空便等で送ることができます。

●外貨

留学先での必要なお金は、現地通貨の現金、クレジットカード、トラベルプリペイドカード(事前入金式で、出発前に日本で入金し留学先ATMで現地通貨を引き出すことができるカード)などで用意するとよいでしょう。留学が数か月以上に渡る場合は、現地で銀行口座を開設し、日本から送金してもらうのも安全な方法のひとつです。

●海外旅行保険 P15

海外旅行保険には必ず加入してください。詳しくは15ページを参照してください。

留学の準備については、以下のサイトも参考にしてください。

 [京都大学海外留学情報ポータルサイト](#) >

留学の流れ > 留学の準備

<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/process/preparation/>



注 目 渡航登録サービスに必ず登録しましょう

●3カ月未満の滞在の場合:外務省海外旅行登録「たびレジ」

旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、いざという時の緊急連絡などが受け取れます。

●3カ月以上の滞在の場合:オンライン在留届

現地到着の90日前～現地到着までに、外務省のホームページからオンライン提出してください。海外在留邦人の事件、事故、被災の際に、「在留届」があれば安否の確認、緊急連絡、救援活動、留守宅への連絡等がより迅速になります。



 <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

留学生活

●こまめに家族への連絡を

渡航して数カ月の間は、家族への連絡をこまめに行ってください。特に、留学先の大学に到着する前に、旅行や知人を訪ねる予定のある人は、定期的に日本の家族に連絡してください。

災害や大事故のあった場所から遠く離れていても、同じ国を旅行中であるというだけで、家族は心配をします。ちょっとした心がけで、日本にいる家族や日本国大使館・領事館(在外公館)に迷惑をかけずに済みます。

●生活環境を整えよう

まず、留学先の機関にある国際交流・留学生担当の事務室を訪ねましょう。機関によっては、留学生に特に役立つサービスや、地域情報、他の留学生との情報交換のための掲示板、カウンセリングなどを提供している場合があります。

はじめは、寝具・勉強机・食器・文具など、当座の生活に必要な基本的な生活用品を整えましょう。帰国前に譲渡できるものや中古品を上手に利用するとよいでしょう。また、自分の所属事務室、警察の電話番号、住居付近の環境を調べておきましょう。

単位認定について

協定校等で修得した単位を本学で修得した単位と同等なものとして認める単位認定制度があります。学部・研究科によって単位認定の手続きや単位認定可能な科目は異なりますので、必ず留学前に所属学部・研究科の教務担当掛に相談してください。また、留学先大学で履修する科目等については、指導教員と相談することが大切です。

単位の認定を申請する際にはシラバス、申請書、成績証明書等が必要です。

留学費用は？

留学の総費用を算出するには「年間費用(授業料+滞在費)」「渡航費」「海外留学保険費用」「お小遣い」を合計してみるとよいでしょう。授業料や滞在費は大学や地域によって大きく異なります。ある程度予算に余裕を持って留学先を決めるとよいでしょう。



帰国

●帰国の準備

「立つ鳥跡を濁さず」ということわざにもあるとおり、きちんと後始末をして、気持ちよく日本へ帰りましょう。購入した書籍を日本に送付したり、家具を処分したり、電気、ガス、水道、電話、郵便物、銀行などの契約停止、航空券手配などを行う必要があります。また、お世話になった方々へ簡単な挨拶をし、日本国大使館・領事館(在外公館)へ帰国届を提出することを忘れないでください。

●帰国後の手続きも忘れずに

帰国後は留学報告書等を速やかに提出しましょう。特に海外留学奨学金を受給した人は、各種報告書類を速やかに提出してください。

また所属学部・研究科でも帰国届等を出す必要があります。速やかに所属学部・研究科の教務担当掛に必要な手続きを確認してください。成績証明書が届いたら、単位認定手続きを進めましょう。

●あなたの経験を後輩に伝えよう！

「留学で考え方が変わった」「自分でやることの大切さがあった」「留学生の苦労が分かった」「行く前にやっておけばよかったと思うこと」「帰国した今からしてみたいこと」など、報告書やプレゼンテーションの機会などを利用して、積極的に他の学生に留学体験を伝えましょう。経験を人に伝えるようまとめることで、あなたの留学を客観的に振り返ることもできます。



交換留学体験談は「[京都大学海外留学情報ポータルサイト](https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/experiences/)」で閲覧可能です。

<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/experiences/>



奨学金を利用する

奨学金の種類

奨学金には、大学を通じて応募するものや奨学団体へ個人で直接応募するものなど、留学の種類、留学先、専攻分野によってさまざまなものがあります。返済不要の奨学金(給付型奨学金)を受けるには、語学スコアや成績評価(GPA)によって審査されることが多いので、日ごろから学業に真剣に取り組む必要があります。

京都大学の学生を対象として募集があったものは、下記「京都大学海外留学情報ポータルサイト」に随時掲載していますので、こまめにチェックしてください。前年度のページを参照すれば、年間でのどのような奨学金が募集されるのか、だいたい知ることができます。

🖥️ [京都大学海外留学情報ポータルサイト](https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/)>

海外留学のための奨学金

<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/scholarships/>



また、海外の機関が提供している奨学金の情報についてキーワードで検索・閲覧できるサイトもありますので、有効に活用してください。

🔍

<https://qa.yari.research.kyoto-u.ac.jp/fund-search/>



● 京都大学独自の奨学金(大学間の交換留学対象)

安藤忠雄国際奨学金(150万円)、チューリヒ大学・京都大学千本ファンド奨学金(100万円)、北海道・富山県・石川県・静岡県・広島県・岡山県・香川県・福岡県出身者(2026.4現在)を対象としたご当地出身学生海外留学支援プロジェクト海外留学奨学金(30万円)、AFLSP Exchange Scholarships for Japanese Students(12500米ドル)があります。いずれも給付型奨学金で返済不要です。受給者は書類審査および面接等を経て決定されます。

● 学内で選考が行われる奨学金

京都大学の学生を対象とする奨学金には、京都大学が学内審査を行い、その結果選ばれた学生の書類を奨学団体に送付するものがあります。年度によって募集内容に変更があるので、所属学部・研究科の掲示板等をよく注意しておいてください。学内審査のため、所属学部・研究科の締切は、奨学団体の締切より1カ月以上早くなる場合が多いので、気をつけてください。

● 海外留学支援サイトをチェック

日本学生支援機構(JASSO)のウェブサイトにもさまざまな奨学金が紹介されています。同機構の実施する奨学金制度だけでなく、外国政府の奨学金、地方自治体、民間団体の奨学金などの検索ができます。また奨学金以外にも、海外留学に役立つ各種情報が掲載されています。なお、大学間の交換留学を対象とした海外留学支援制度(協定派遣)は、京都大学からJASSOへ申請し、採択された場合のみ、交換留学合格者の中から学業成績等を考慮して選抜されます。こちらの奨学金は給付型であるため返済不要です。

🖥️ [日本学生支援機構 海外留学支援サイト](https://ryugaku.jasso.go.jp/index.html)

<https://ryugaku.jasso.go.jp/index.html>



● 募集時期

奨学金は渡航開始の前年度の春ごろから順次募集が開始されるため、1年以上前から応募の準備をする必要があります。

トビタテ!留学 JAPAN

文部科学省は、意欲と能力のある若者のための留学推進キャンペーン「トビタテ!留学JAPAN 新・日本代表プログラム」を展開しています。支援企業・団体の寄付により、返済不要の留学奨学金を提供しています。詳しくはウェブサイト参照してください。

🖥️ <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/>





日本にいる間に準備したいこと

さまざまな機会を利用しよう

●コミュニケーション能力の向上

海外留学では、自らが人に話しかけ、出会い、知り合う機会を作らないとネットワークはいつまでたっても広がりません。日ごろから留学生に限らず、話をしたことがない人に話しかけてみるなど、コミュニケーション能力を高めておきましょう。

●知識面の準備

留学生在が「民間大使」に例えられるように、留学先の人々はあなたを通して日本を知ることになります。外国語で日本の社会情勢、文化、生活習慣、料理などを紹介している書籍等を活用し、留学先で簡単に説明したり実演したりできるように準備しておく、自己紹介のきっかけにもなります。言葉が少々不自由でも、一緒にものを作ったり、スポーツをしたりすることがきっかけとなって、コミュニケーションがスムーズになることがよくあります。

留学生と交流しよう

京都大学に留学中の留学生と積極的に交流してみましょう。国際交流サークルに参加するなど、まずは交流の機会を持ちましょう。

京都大学では、留学生の生活支援や日本語支援をするチューター制度を設けています(問い合わせは所属学部・研究科の教務担当掛まで)。ピアチューター(国際教育交流課オフィス・アシスタント)のアルバイトも適宜募集しています。

留学から帰国した後に、自分もしてもらったように留学生をサポートしたい、国際交流を続けたいと考え、このような活動への参加を希望する人も多いようです。

■協定校ひろば(前期・後期開催)

昼休みに開催される、協定校からの留学生が母校を紹介するイベントです。交流タイムもあるので、留学生と情報交換も可能です。



協定校ひろば

説明会に参加しよう

●留学フェア「留学のススメ」

国際教育交流課では、下記のような海外留学支援のためのフェア「留学のススメ」を年間を通じて実施しています。告知は京都大学海外留学情報ポータルサイトやKULASISなどを通じて行います。

■京都大学(国際教育交流課)の短期留学プログラムの説明会(随時)

■留学のススメWEEKS(4月開催)

■海外渡航安全説明会(7月・12月開催)

海外での健康管理や安全対策など、渡航前に正しい危機管理知識を身につけてもらうための説明会です。京都大学(国際教育交流課)の派遣プログラムに参加する学生は参加必須としています。その他のプログラムや私費で留学する人も、可能な限り参加しましょう。



留学のススメWEEKS 留学相談会

●学生支援団体

4ページで紹介した学生支援団体AIESEC(アイセック)、IAESTE(イアエステ)は、年に数回、学内で説明会等を開催しています。

その他学外でも、各国文化交流機関などの主催による留学フェアが随時開催されています。さまざまな話を聞くうちに留学のイメージが定まり、有益な情報が得られることもありますので、足を運んでみましょう。

ピアチューター

国際教育交流課事務室前の相談カウンターでは、学生OAがピアチューターとして在席し、本学学生向けに以下のサービスを提供しています。

■場所

吉田南構内 国際高等教育院棟 (ILAS棟)
2階202号室国際教育交流課事務室の前
(キャンパスマップ87番の建物)



■開室日時

平日 9:00~17:00

(ただし、土日祝・夏季休業日・年末年始等の休業日を除く)

●留学相談

海外留学に関心のある方は、ピアチューターに気軽に留学相談をすることができます。ピアチューターの多くが交換留学経験者ですので、彼ら自身の経験を踏まえながら、留学全般の相談に応じます。

●言語交換オンライン掲示板

言語交換では、お互いに勉強したい言語を話す学生同士が交流するためのきっかけを提供しています。語学学習や海外文化への理解を深める場としてぜひ活用してください。

登録方法や利用方法などの詳細は、下記リンクをご確認ください。

<https://sites.google.com/view/kizuna-onlinelanguageexchange?pli=1>



●交換留学経験者と交換留学希望者とのマッチング

大学間の協定校へ交換留学した経験をもつ現役学生と直接交流するきっかけを提供しています。

マッチングを希望する場合は、下記フォームから必要事項をご入力ください。あなたの希望と合致する交換留学経験者が了承した場合にお繋ぎします。

※卒業している等の理由でマッチングがかなわない場合がありますので、予めご了承ください。

<https://forms.gle/SSPKLLGA9gW73VKY7>



●国際交流イベント

留学生が日本人学生や他国の留学生とも交流できる国際交流イベントを、不定期で開催しています。イベント開催についてはKULASISでお知らせします。

これまでに開催されたイベントの様子を以下リンク先でご覧いただけます。

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/students2/campus/peer/events>



海外拠点や関連団体を活用しよう

下記の海外拠点や京都大学関連団体を活用しましょう。頼れるコミュニティがない留学先で、貴重な現地の情報や、交流の機会を得ることができるかもしれません。渡航準備中や渡航中にぜひ連絡をしてみてください。

●京都大学海外拠点

教育活動支援の一環として、現地大学との交流の推進、留学希望者への情報提供、留学相談の実施などを行っています。

📄 京都大学海外拠点ウェブサイト

<https://www.oc.kyoto-u.ac.jp/overseas-centers>

✉ 京都大学欧州拠点(ドイツ)

info_eu@oc.kyoto-u.ac.jp

✉ 京都大学ASEAN拠点(タイ)

asean-bangkok@oc.kyoto-u.ac.jp

✉ 京都大学北米拠点(アメリカ)

us_dc@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

●ハイデルベルク大学京都オフィス

京都大学吉田南キャンパス吉田国際交流会館内にある、ハイデルベルク大学の京都大学オフィスです。ハイデルベルク大学への留学を希望する学生だけでなく、ドイツに興味を持つ学生の窓口となり、さまざまな活動のサポートをしています。

https://www.uni-heidelberg.de/kyoto-office/index_jp.html

✉ info@huok.uni-heidelberg.de

●海外の京都大学同窓会

下記ウェブサイトの海外の京都大学同窓会リンクから、海外にある京都大学同窓会の連絡先を知ることができます。

📄 京都大学同窓会(海外)

<https://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/categories/global/>

✉ シドニー濃青会

sydney_nouseikai@yahoo.co.jp

✉ シンガポール洛星会

sg.rakuseikai@gmail.com



ピアチューター相談カウンター



国際交流イベント

語学力を高めよう

語学力は留学成功のポイント

現地語で授業を受けるには、講義を理解し、授業の討論に参加し、テキストを読み、レポートや論文を作成できるだけの、一定の学力と語学力が必要です。京都大学の外国人教員の先生方によれば、留学に際し、当該外国語の実質学習時間は最低400～500時間が必要といわれています。


また、海外留学体験者についての調査結果では、語学力が高いほど留学先での異文化適応が早く、その成果も大きいという報告があります。ここからも、事前に語学の勉強をしっかりとってから留学することの大切さがわかります。

国際高等教育院の留学支援

国際高等教育院では、学術的教養の涵養や幅広い言語運用能力の向上を目指し、多様な英語授業を提供しています。また、定期的にワークショップを開催し、リスニングやライティングなどの学術的言語技能の向上を図っています。英語学習についての個別相談も随時受け付けています。

●i-ARRC

国際高等教育院附属国際学術言語教育センター(i-ARRC)では、ランチタイムの言語交流イベントの開催のほか、教育院内でのIELTSの開催、英語リスニング力向上のためのYouTube動画や自律的英語ユーザーへのインタビューの公開、練習ブースの貸し出しなど、外国語を身近に感じ、自然に身につけるための取り組みを進めています。各種語学学習に関する情報、イベントなどの最新情報は、下記ウェブサイトまたは国際高等教育院LINE公式アカウントの情報をご覧ください。

 i-ARRCポータルサイト

<https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp>



語学能力試験について

留学を検討し始めたら、まずは必要な語学能力試験を一度受験して、あなたの現在の實力を見極めましょう。基準点に達していない場合は、希望得点が得られるまで何度でも受験する覚悟が必要です。

●TOEFL iBTとIELTS

英語圏への留学のための語学力証明書には、TOEFL iBT、IELTS が使われることが一般的です。どちらも英語を母国語としない人々のコミュニケーション能力を測るテストで、

英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界的に広く認められています。

●TOEICと英検

TOEICや英検は、日本の就職活動等では広く用いられますが、大学への留学の際の語学能力試験として認められていないケースも多いため、注意してください。

●英語以外の試験

英語以外の主な語学能力試験には、下記のようなものがあります。国内で受験できる回数が限られている試験もありますので注意しましょう。

■DELFD/DALF

フランス国民教育省が認定するフランス語資格試験です。

■TestDaF、ゲーテ・ドイツ語検定試験

TestDaFは熟練したドイツ語使用者向け、ゲーテ・ドイツ語検定試験は6段階のレベルから受験できます。

■HSK(漢語水平考試)

中国政府公認の中国語検定試験です。1～6級があり、6級が最上級です。

■DELE

スペイン教育文化スポーツ省公認のスペイン語能力試験です。


■TOPIK(韓国語能力試験)

韓国政府公認の韓国語(ハングル語)試験です。TOPIK I(1～2級)とTOPIK II(3～6級)から選んで受験します。

CEFRって何？

CEFRとは、Common European Framework of Reference for Languages(ヨーロッパ言語共通参照枠)の略で、外国語学習者の言語運用能力のレベルを示す国際標準規格として、ヨーロッパを中心に幅広く導入されています。「言葉を使ってできることを」を基準に、A1からC2まで6段階に分けて熟練度を示します。

基礎段階の言語使用者		自立した言語使用者		熟練した言語使用者	
A1	A2	B1	B2	C1	C2

 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/091/gijiroku/_icsFiles/afieldfile/2018/07/27/1407616_003.pdf



🌟トラブルに巻き込まれないために

健康・安全の確保と危機管理

留学中は、慣れない場所でどこに危険があるのかが十分に把握できないため、交通事故や犯罪など、さまざまな被害に遭う可能性が高くなります。常に危険を予測して行動するよう心がけてください。

安全を確保するための要点を以下に示します。

- ① 他人を当てにせず、自分の身は自分で守る。
- ② 外出時だけでなく、学校内、自宅でも警戒を怠らない。
- ③ 現地の習慣・風俗を尊重し、現地の人以上に安全に気を使う。
- ④ 狙われやすい格好や隙のある行動をしない。
- ⑤ よく知らない人を安易に信用しない。
- ⑥ 自分の名前、住所、電話番号、所持金などについて話さない。
- ⑦ 絶えず情報収集に努め、迷ったときには、より安全な選択肢を選ぶ。

渡航前

●健康状態をチェックしよう

留学生活を送る上で欠かせないのが、自分の健康管理です。身も心も万全の状態での出発できるように、出発前に健康状態をチェックしてください。持病のある人は、出発前にかかりつけの医師に相談しましょう。アレルギーや常備薬等について、事前にアドバイスを受けておく必要があります。医師の処方箋がないと薬を買えない国もあります。

歯の治療は、原則として海外旅行保険の対象外であることが多く、国による治療技術にもばらつきがありますので、出発前に治療を済ませておきましょう。

●予防接種も忘れずに

出願時または入学時に、予防接種を必要とする国や学校があるので、事前に志望校に確認しましょう。自分がこれまで受けた予防接種等を把握した上で、自分の身を守るという観点からも、医師の指示に従って、地域に応じて必要と思われる予防接種は受けておきましょう。

📄 日本検疫衛生協会 <https://kenekieisei.or.jp/>

📄 FORTH(厚生労働省検疫所)

<https://www.forth.go.jp/index.html>

●海外渡航安全説明会 P11

渡航前に留学のススメ「海外渡航安全説明会」に参加し、健康・安全・危機管理についての正しい知識を身につけましょう。

●海外渡航に関する安全対策手引き

海外渡航前には「海外渡航に関する安全対策手引き」を熟読するようにしてください。手引きは、下記リンクからダウンロードすることができます。

なお、大学が主催するプログラム(交換留学、短期プログラム等)について、外務省危険情報・感染症危険情報が「レベル2」以上の場合は渡航不可としています。渡航先の危険情報等について、十分に確認するようにしてください。

📄 京都大学海外留学情報

ポータルサイト>留学の流れ>
留学の準備>健康・安全の確保と
危機管理のために

[https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/
process/preparation/safety/](https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/process/preparation/safety/)



留学中

●留学中の健康管理

日本とは異なる食事や生活のリズム、環境の変化から体調を崩すことがあるので、健康管理には十分注意しましょう。留学生活と日本での生活との大きな違いは、もしもの時に頼れる親・親戚・友人などのネットワークが留学当初にはないことです。体調がすぐれないときは、早めに対処して大事に至らないようにしましょう。

●カルチャーショックとは


異文化環境で生活する際、今まで自分の国や文化で培ってきた言葉や習慣や行動様式などが通用しないことに対して起こるショック状態のことを「カルチャーショック」といいます。異文化適応のための自然な過程ですが、自分自身の根幹である考え方、生き方、存在そのものを揺るがす場合もあります。その影響が疲労感、あせり、不安、神経質、憂鬱、睡眠不足、摂食障害、対人恐怖症などとなって現れる場合もあります。

●カルチャーショックを感じたら

大切なのは、カルチャーショックについてあらかじめ知っておき、実際にカルチャーショックを感じたときに、身近なアドバイザーやカウンセラー、友人に気軽に相談することです。カルチャーショックを肯定的に受け止め、「ここではそうなんだ」という風に違いを違いとして認め、自分なりにその困難を乗り越えられれば、自国と他国の違いを冷静に比較する目を養うことができます。そして、どこの文化でも、状況に応じて臨機応変に行動できる能力が培われることでしょう。

●悩みごとがあるときは

留学中に、当初予想もしなかった深刻な状況に陥ったり、深く悩むことがあったら、ひとりで抱え込まず、協定校や本学のカウンセリングサービス、友人、日本の家族など、誰かに相談して助けを求めてください。本学の学生相談部門によるカウンセリングサービスは、Zoom によるオンライン相談も受け付けています。また、学部・研究科毎に相談窓口を設けているところもあります。カウンセリングを受けるほどではないけれども、何か心配事や困っていることがあるという場合も、遠慮をせず協定校のコーディネーターや、国際教育交流課まで相談してください。

 <https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/ssc/about/information/>



帰国後

●逆カルチャーショックへの準備も

留学を終えて帰国した学生が、日本の生活に違和感を覚えることがあります。海外留学後に日本の社会に復帰するにあたって直面する、適応上の問題や心理的葛藤を「逆カルチャーショック」といいます。逆カルチャーショックを体験し、再適応が必要になったのは、ひとえにあなたが留学先の文化にうまく適応できたからです。自分が留学生生活当初の葛藤を乗り越えてきたことを思い出し、逆カルチャーショックも肯定的に受け止めましょう。月日が解決してくれると考えてあまり焦らないようにしましょう。

自分の置かれた環境をよく観察し、そのなかで自分が何を期待し、何をしたいのかを考え、どのようにしたら「留学体験」をこれからの進路に生かせるかを考えましょう。

海外旅行保険に入ろう


保険制度は国によりさまざまで、留学生に対する扱いも異なっています。不慮の事故や病気に備えて、各自で留学前に**治療・救援費用が無制限の海外旅行保険に必ず加入してから**出発してください。その際には、保険の適用範囲、留学先近辺の支店などを十分比較検討してください。また、国・留学先大学によっては、指定された保険への加入が義務付けられています。その場合は、**日本で加入した海外留学保険と現地の保険の両方に加入する必要があります。**

クレジットカードについている保険では補償が不十分なことが多いので、必ず別途、海外旅行保険に加入してください。

なお、京都大学国際教育交流課で企画・実施するすべての海外派遣プログラムでは、**治療・救援費用が無制限の保険への加入**を学生に義務付けています。

●「付帯海学」がオススメ

「学研災付帯海外留学保険」(略称・付帯海学)は、海外で学ぶ京大生のための保険です。海外に留学する際は、疾病や救援者費用と留学生賠償責任を充実させた「付帯海学」に原則加入してください。

 [京都大学海外留学情報ポータルサイト](#)>留学の流れ>留学の準備>海外留学保険・アイラック

<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/process/preparation/insurance/>




■株式会社東京海上日動パートナーズかんさい大阪北支社
Tel 0120-505-421 /  kai.gaku@tnp2000.jp

●アイラックについて

京都大学では、海外渡航中の事故や災害等の不測の事態に迅速に対応するため、「日本アイラック危機管理支援システム」を導入しています。京都大学(国際教育交流課)の派遣プログラムでは、すべての学生について大学の費用でこのシステムに加入しますが、留学する学生個人が日本の海外旅行保険に加入していることが条件となります。このシステムにより、不測の事態発生時の対策補助、24時間サポートデスクなどの支援を受けることができます。

国別安全情報・防犯対策の確認

外務省海外安全ホームページで、渡航先の安全情報や防犯対策を確認しましょう。この情報は、あなたの身の安全を守るために重要な情報であり、随時更新されるものです。必ず出発直前にも確認してください。

 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>





短期留学プログラムとは

長期休暇を有効活用する

交換留学などの中長期留学以外にも、夏休みや春休み等の休暇を利用して参加することのできる短期留学プログラムがあります。京都大学では、海外留学促進の一環として、3ヵ月未満の様々な短期留学プログラムを企画・実施、または紹介しています。各プログラムの募集開始や説明会については、主に京都大学海外留学情報ポータルサイトやKULASISの留学情報などを通じて告知します。他にも、海外での研修・フィールドワークを含む、国際高等教育院における全学共通科目「海外実地セミナー」や、各学部・研究科独自に実施しているプログラムもあります(問い合わせは各担当掛まで)。

【短期留学プログラムの魅力】

- 海外経験のない、あるいは少ない学生が気軽に挑戦することができる
- 夏休みや春休みなどの長期休暇が、実りある有意義なものになる
- 短期間で集中的に、興味・関心のあるテーマについて学べる
- 中長期留学に比べて参加費用が安く、経済的負担が小さいなど

自分にあったプログラムを探してみよう！

自分自身の興味・関心に近いキーワードパズルのピースを複数選び、最も数の多いピースの色について、次頁以降1～6の中から該当するものを選択してください。

(例)  ×3つ  ×1つ  ×1つ を選択した方は…

次のページでこちらをチェック⇒

2. 多文化交流・実地研修を通してグローバルな感覚を獲得する





※予定は変更になる場合があります。実施の約4ヶ月前に募集を行い、留学費用の一部を支援する場合があります。

1. 世界に通用する英語力を身につける

海外の協定校等と連携し、現地における3～4週間の大学生活を通して、異なる言語・文化環境に触れながら、世界に通用する英語能力の向上およびコミュニケーション能力の養成を目指します。参加者の語学学習状況に合わせて複数のプログラムを用意しています。大学の授業では得られない体験や、中長期の留学に向けて視野を広げることができます。

プログラム名(渡航先)	内容	実施予定期間	実施期
オークランド大学 語学研修プログラム(ニュージーランド)	語学、文化研修	8月下旬～9月下旬(4週間)	夏
ブリティッシュコロンビア大学 語学研修プログラム(カナダ)	語学、文化研修	2月下旬～3月下旬(4週間)	春

2. 多文化交流・実地研修を通してグローバルな感覚を獲得する

全学共通科目「多文化教養演習」として実施する短期派遣プログラム

本学学生が各国の大学生と、現地で交流を深め、国際性を養い、外国語運用能力を向上させる機会として、提供されています。語学学習、教員による特別講義、現地学生との共学、フィールドトリップ等、カリキュラムは先方大学との協力の下で開発され、充実した内容になっています。これらの科目は、全学共通科目(キャリア形成科目群「多文化教養演習：見・聞・知@～」)の授業として実施され、2単位が認定されます。「多文化教養演習：見・聞・知@～」は、サマープログラム・スプリングプログラムとして実施される短期派遣留学と事前学習、事後学習から成っています。詳細は、KULASIS掲載のシラバスを確認してください。

プログラム名(渡航先)	内容	実施予定期間	実施期
香港中文大学サマープログラム(中国語コース)(香港)	語学、実地研修、学生交流	8月上旬～下旬(3週間)	夏
ベトナム国家大学ハノイ校サマープログラム(ベトナム)	語学、実地研修、学生交流	9月中旬～下旬(2週間)	夏
浙江大学スプリングプログラム(中国)	語学、実地研修、共同学習	2月下旬～3月のうち2週間	春
国立台湾大学スプリングプログラム(台湾)	語学、実地研修、共同学習	2月下旬～3月のうち3週間	春
延世大学校スプリングプログラム(韓国)	語学、実地研修、共同学習	3月上旬～下旬(3週間)	春
チュラーロンコーン大学スプリングプログラム(タイ)※	語学、実地研修、学生交流	2月中旬～3月上旬(2週間)	春
バルセロナ大学スプリングプログラム(スペイン)	語学、実地研修、学生交流	3月上旬～中旬(2週間)	春
ウィーン大学スプリングプログラム(オーストリア)	語学、実地研修、学生交流	3月上旬～中旬(2週間)	春

※インドネシア大学スプリングプログラム(インドネシア)と隔年実施

全学共通科目「海外実地セミナー」として実施する短期派遣プログラム

海外での実地研修を通じて、現地の自然・政治・経済・文化・歴史などの事情を学び、多文化・地球環境等への理解を深めることができるプログラムです。事前講義(現地の歴史・地理や実地研修の内容の説明、海外での安全教育)、海外実地研修、およびレポート作成の3点を基本に授業が設計されています。

これらの科目は、全学共通科目(キャリア形成科目群「海外実地セミナー：～」)として実施され、2単位が認定されます。詳細はKULASIS掲載のシラバスを確認してください。

プログラム名(渡航先)
科目名:海外実地セミナー:暮らし・環境・平和-ベトナムに学ぶ ベトナム(ダナン)
科目名:海外実地セミナー:東南アジアの再生可能エネルギー開発 タイ(バンコク)
科目名:海外実地セミナー:変容する東南アジア-環境・生業・社会と持続的発展 タイ(バンコク・チェンマイ等)
科目名:海外実地セミナー:フランス伝統地域における食を取り巻く環境と農業 フランス(ラングドッグ・ルシヨン地域やブルゴーニュ地方)
科目名:海外実地セミナー:世界の水問題を考える(Conflict Management(Global Water Issues)) ベトナム(ハノイ、ダナン、ホイアン、カントー)

「海外実地セミナー」に関する問い合わせは、国際高等教育院授業担当窓口へお願いします。

その他の短期派遣プログラム

実地研修に加え、テクノロジー、語学など派遣先大学の強みを活かして開発されたカリキュラムの下で学びます。(単位認定はありません)

プログラム名(渡航先)	内容	実施予定期間	実施期
インド工科大学ハイデラバード校(IITH)サマープログラム(インド)	Deep-tech、実地研修、学生交流	9月上旬～中旬(1週間)	夏
フロリダ大学サマープログラム(米国)	語学、実地研修、学生交流	9月上旬～中旬(2週間)	夏

3. リーダー育成

大学連携組織である財団や大学間国際ネットワーク等が主催の留学プログラムを提供しています。海外の学生と英語での討論を行う機会や、現地の企業・機関等を訪れる機会が設けられています。

プログラム名(渡航先)	内容	実施予定期間	実施期
Kingfisher Global Leadership Program(米国)	リーダーシップ、アントレプレナーシップ育成	2月中旬以降(2週間)	春
スタンフォードVIA: Exploring Social Innovation (ESI) (米国)	課題解決能力育成・企業訪問・デザイン思考・プレゼンテーション	2月～3月のうち2週間	春
スタンフォードVIA: Discovering Culture & Health Care (DCH) (米国)	アメリカ医療現場体験・医療英語能力向上	2月～3月のうち10日間	春

4. 京都で学ぶ

KCJS および SJC は、米国のトップスクールが京都で実施するプログラムに特別に参加できる制度です。日本にいながら、米国式の講義を経験することができます。本講義は、審査のうえ、所属学部・研究科から単位として認定される場合があります。

また、世界のトップ大学からの留学生と京都大学において交流しながら共に学び、今後のさらなる国際的活動への礎を築く機会として、京都サマープログラムが提供されています。留学生との共学、教員による特別講義、フィールドトリップ等がカリキュラムに組み込まれており、将来海外への留学等を希望する学生にとっては、京都で踏み出すことのできる良いきっかけの一步です。このプログラムは、全学共通科目(キャリア形成科目群「多文化教養演習：見・聞・知@〜」)の授業の一環として実施され、2単位が認定されます。詳細は、KULASIS 掲載のシラバスを確認してください。

プログラム名	内容	実施予定期間	必要語学
KCJS (Kyoto Consortium for Japanese Studies) 京都アメリカ大学コンソーシアム	講義、学生交流	1～4月/9～12月	iBT79/IELTS6.0/ITP550
SJC (Stanford Japan Center) スタンフォード日本センター	講義、学生交流	4～6月/9～12月	iBT79/IELTS6.0/ITP550
京都サマープログラム 科目名: 多文化教養演習: 見・聞・知@京都 受容から発信へ	講義、実地研修、語学教授実習、共同学習・学生交流	7月下旬～8月中旬	

「京都サマープログラム」に関する問い合わせは、京都サマープログラム事務局 <kyoto_summer@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp > (* → @) へお願いします。

5. 多様性に飛び込む ～協定校ショートプログラム～

協定校ショートプログラムとは、京都大学と大学間学生交流協定を締結している大学(協定校)等が実施するショートプログラム(※)を指します。参加希望者は、原則として実施する協定校に直接申し込むこととなりますが、本学学生はプログラム費用割引などの特典が受けられる場合もあります。実施時期や募集期間、費用、申し込み方法などは協定校ごとに異なりますので、必ず協定校ウェブサイトなどで最新情報を確認してください。

※ショートプログラムとは？

ここでいうショートプログラムとは、世界各国の学生が夏休み・春休み等の期間を利用して参加する短期留学プログラムの総称です。哲学や経済学、工学、理学、医学といった専門分野から具体的なテーマを取り上げ、研究活動を体験できるプログラムもあります。多くの選択肢から選びたい場合は、こうしたプログラムへの応募もぜひ検討してみてください。

協定校ショートプログラムの募集情報はKULASISおよび京都大学海外留学情報ポータルサイトに随時掲載されるので、自分の希望・関心に合ったプログラムの募集があるか、定期的にチェックしましょう！

短期留学プログラム(2025年度募集実績)

ここでは、2025年度にKULASIS等を通じて募集した短期留学プログラムの例を紹介します。

1. 多文化交流・実地研修を通してグローバルな感覚を獲得する ニュージーランド・オークランド大学語学・文化研修プログラム

ニュージーランドの名門校オークランド大学で実施される英語学習プログラムです。授業は、午前と午後の二部に分かれており、日常会話、ディベート、プレゼンテーションなど様々な場面で使用する英語の表現や会話スキルを学びます。他にも現地の学生との交流や、ニュージーランド文化を学ぶ時間も用意されています。



2. 多文化交流・実地研修を通してグローバルな感覚を獲得する ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校

ベトナムにおいて最も先駆的なベトナム国家大学ハノイ校に属する人文社会科学大学および同校外国語大学において、ベトナム語学習およびベトナム文化についての講義、文化体験、ベトナム語母語話者との日本語も交えた交流と発表討論、実地研修等の機会を提供します。ベトナムの言語、文化、社会、歴史等について知識を深めるとともに、高度な多文化理解を身につけます。

3. リーダー育成 Kingfisher Global Leadership Program

将来国際的な活躍を目指す京都大学大学院生または学部生を対象とする国際機関での研修プログラムです。プログラム期間中に米国ワシントンD.C.、ニューヨーク、サンフランシスコの各種機関および現地企業・財団(世界銀行、国連本部、Google、スタートアップ企業等)を訪問し、そこで働く研究者やプロフェッショナルによる京大生のための講義とディスカッションに参加します。リーダーシップ・ワークショップ等の講義もあります。



4. 京都で学ぶ KCJS/SJC英語講義

KCJS/SJC英語講義の受講制度は、米国の高等教育機関が京都で提供する英語講義を、米国大学生とともに受講する制度です。毎学期、募集・選考が行われ、各クラスに2～3名の京都大学生が講義に参加します。京都大学の受講生にも米国の学生と同様の課題が課せられ、英文レポートや英語での討論が求められます。京都にしながら、米国のトップスクールへ留学したのと同じような環境を経験できる制度です。

5. 多様性に飛び込む～協定校ショート～ ハイデルベルク大学サマースクール

1926年に始まり、欧州を代表するサマースクールの草分け的な存在です。世界各国から500名以上もの学生が集まるこちらのプログラムでは、レベルに応じてドイツ語を学びつつ、ドイツの歴史や文化に触れ、近郊への日帰りツアー等を通じて、ドイツに関する様々な知見を得られるほか、1ヶ月を通して国際交流を深めることができます。





交換留学について、もっと知ろう

学生交流協定に基づく留学

京都大学が海外の大学と締結している大学間・部局間の学生交流協定に基づく、1学期以上、1年以内の留学を「交換留学」といいます。

留学中の授業料は京都大学に納め、派遣先大学での授業料は不徴収です。留学先での在学期間も京都大学における修業年限に通算されるので、必要単位さえ修得すれば、留年せずに所定修業年限内で卒業・修了することが可能な学部・研究科もあります。また、協定校で修得した単位が京都大学での単位と認められる単位認定制度もあります。

ここでは大学間学生交流協定に基づく交換留学の流れを説明します。部局間学生交流協定に基づく留学手続きの詳細は、所属学部・研究科の教務担当掛に問い合わせてください。

学内選考について

交換留学生として協定校に出願するためには、まず学内選考に応募する必要があります。毎年、募集時期やそれぞれの大学への派遣可能人数が異なりますので、必ず募集要項を確認してください。募集要項・様式等の受け取り、応募書類の提出については所属学部・研究科の通知・指示に従ってください。

【募集時期】

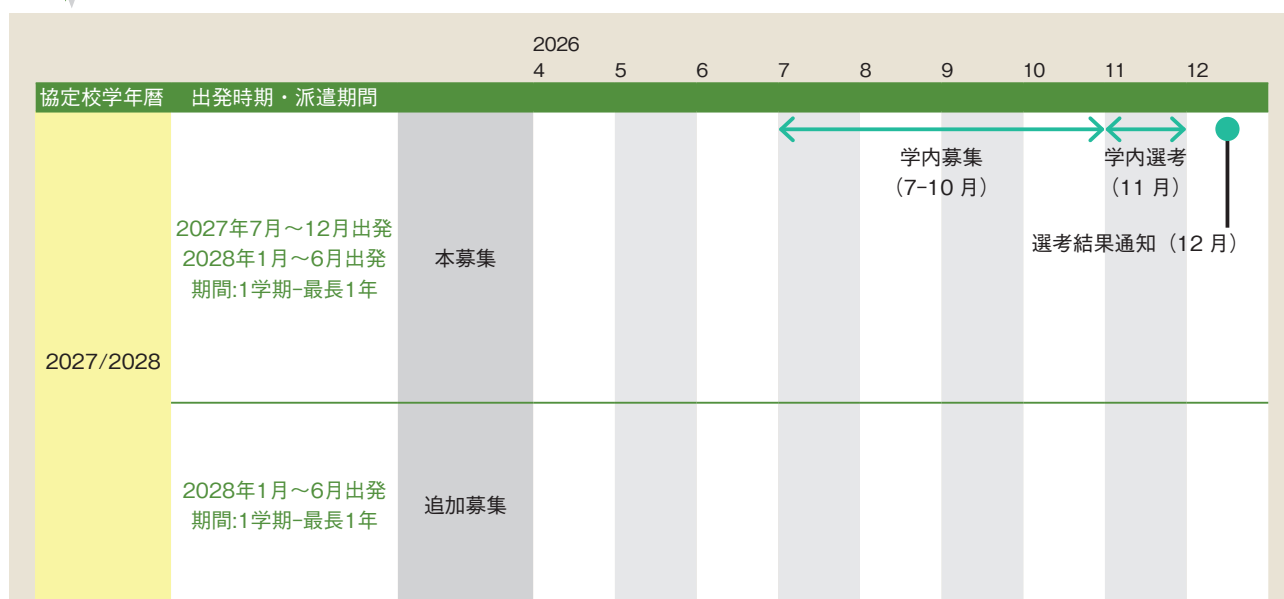
本募集：7月～10月(翌年7月～翌々年6月出発分)

追加募集:翌年2月～4月(本募集の翌々年1月～6月出発分)※

※本募集で派遣枠に残枠がある協定校のみ募集

交換留学に関する情報は、次頁の京都大学海外留学情報ポータルサイトに掲載されています。最新の応募要項等をダウンロードすることもできます。

学内応募～留学開始までのスケジュール



※本募集は秋学期開始と春学期開始のどちらかを選ぶことができます。
※追加募集は春学期開始のみで、本募集で派遣枠に残枠がある協定校にのみ応募できます。
※派遣と受入のバランス等により、募集枠減もしくは募集がかからない協定校もあります。

 京都大学海外留学情報ポータルサイト>
 留学プログラム>
 大学間交換留学
<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/program/exchange-university/>



● 協定校への出願可否等の決定

主に申請書類を元に学内で選考を行い、各応募者の出願の可否、出願先等を決定して所属部局長に通知します。なお、最終的な留学の可否は協定校が決定するため、学内選考で許可されても必ずしも留学できるとは限りません。

出願から帰国まで P05~

● 派遣先大学への出願

学内選考により推薦が決定した学生には、国際教育交流課からメールで出願案内を送ります。大学によって出願に必要な書類や提出期限が異なりますので、指示に従って必要書類を用意してください。住まいは、協定校や提携会社が提供する寮が一般的ですが、出願時に申し込むところ、入学許可後に申し込むところ、自力で探さなければならぬところなど、さまざまです。

● 入学許可・渡航準備

入学許可証が発行されたら、速やかにビザ申請、航空券、海外旅行保険の手配をしましょう。特にビザ申請は近年大変混みあっており、時間がかかります。学期開始に間に合うよう最短で進めてください。

● 学内の留学前手続き

交換留学決定者には、交換留学誓約書を提出すること、「海外渡航安全説明会」に参加すること、海外旅行保険への加入およびその情報を含む渡航情報を京都大学のオンラインシステム(STEP2)を通じて提出することを義務づけています。海外渡航届をはじめ、所属学部・研究科で必要な手続きについては、教務担当掛に確認の上、すべて済ませてから渡航してください。

● 留学後の報告

帰国後、所定の報告書、派遣先大学発行の成績証明書を出してください。特に皆さんの留学体験談は、交換留学を考える後輩にとって大変貴重な資料です。交換留学経験者の報告書は京都大学海外留学情報ポータルサイトに掲載しています。

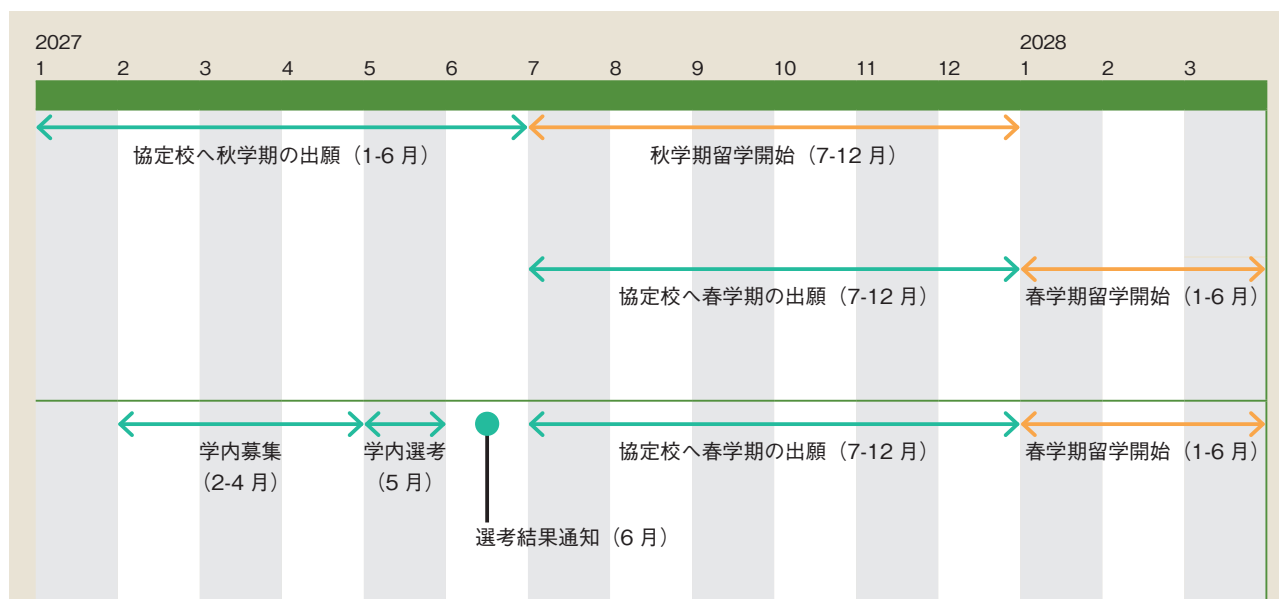
問い合わせ先

交換留学に関する問い合わせは、国際教育交流課・交換留学担当者まで。(所属部局と氏名を記載のこと)

✉ outbound.exchange@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※返信が受け取れるよう、必ず受信許可設定をお願いします。
 ※交換留学経験者、現在留学中の学生、同時期に留学予定の学生と情報交換したい方は、以下のフォームよりリクエストをお送りください。

🖨 <https://forms.gle/8MT6u9kvK5taeREZ9>




※応募後に派遣先大学の変更および期間変更はできません。
 ※学部新1年生は、入学年の本募集(翌年秋学期または翌々年春学期出発)が最短応募となります。

語学スコア、奨学金応募、パスポート、航空券、ビザ、住まいの手配などは別途各自で進めましょう。

交換留学の費用

留学するために必要な費用は、留学期間、留学先の国や地域、個人の生活レベルによって異なりますが、授業料を除いた生活費として、約10～20万円／月を目安としてください。また、留学準備に必要な費用として、海外旅行保険料、渡航費、住居費、旅券・ビザ申請費、語学能力試験費などがあります。以下の内容の他、協定校のホームページやファクトシートの「Cost」欄に掲載されている情報や日本学生支援機構(JASSO)のホームページ(https://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/region.html)等も参照してください。

参考までに、およそ6割の学生が奨学金(約7～20万円／月)を取得して留学しています。交換留学の場合、留学先の授業料を納める必要はありませんので、費用の面で大きなメリットがあります。

奨学金の情報は早めに確認しておきましょう！  P10「奨学金を利用する」

《留学費用の目安》(実際の費用は国・地域等により異なります。別途、京都大学への授業料の納付が必要となります。)

●シンガポールへの交換留学(約10ヵ月)

渡航費(往復)	13万円
食費	40万円(4万円/月)
住居費	50万円(5万円/月)
海外留学保険(京大+協定校)	10万円
ビザ申請	1万円
その他	30万円
約144万円	

●台湾への交換留学(約10ヵ月)

渡航費(往復)	10万円
食費	40万円(4万円/月)
住居費	40万円(4万円/月)
海外留学保険(京大+協定校)	10万円
ビザ申請	1万円
その他	32万円
約133万円	

●オーストラリアへの交換留学(約10ヵ月)

渡航費(往復)	20万円
食費	50万円(5万円/月)
住居費	100万円(10万円/月)
海外留学保険(京大+協定校)	20万円
ビザ申請	6万円
その他	50万円
約246万円	

●米国への交換留学(約10ヵ月)

渡航費(往復)	25万円
食費 ※寮費に含まれる	-万円
住居費(食費込み)	200万円(20万円/月)
海外留学保険(京大+協定校)	50万円
ビザ申請	5万円
その他	40万円
約320万円	

●ドイツへの交換留学(約10ヵ月)

渡航費(往復)	23万円
食費	50万円(5万円/月)
住居費	50万円(5万円/月)
海外留学保険(京大+協定校)	20万円
ビザ申請	2万円
その他	30万円
約175万円	

●英国への交換留学(約10ヵ月)

渡航費(往復)	30万円
食費	40万円(4万円/月)
住居費	110万円(11万円/月)
海外留学保険(京大+協定校)	15万円
ビザ申請	3万円
その他	50万円
約248万円	

(交換経験者の報告書や協定校の資料等を元に作成)

医学部

	留学相談	連絡先	所在地
①	医学部教務掛・大学院教務掛(医学科)	060kyoumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	医学部C棟1階
②	片岡 仁美 教授(医学科)	医学部教務掛・大学院教務掛に問い合わせること	

▼医学部医学科所属学生の一例 (※マイコースプログラムでの留学)

留学情報(PandAサイト内)

医学科共通→12_海外留学を確認すること

1年生~2年生	3年生	4年生	5年生~6年生
	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	
		留学準備	留学

薬学部

	留学相談	連絡先	所在地
①	薬学部・薬学研究科教務掛	080yakukyomu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	薬学研究科本館1階
②	グループ担任、指導教員または教務委員長	薬学部・薬学研究科教務掛に問い合わせること	

留学情報(京都大学海外留学情報ポータルサイト)

<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/>



▼薬学部所属学生の一例(カナダ)

1年生	2年生	3年生	4年生
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
応募	留学準備	出願	留学準備
		交換留学	

工学部

	留学相談	連絡先	所在地
①	工学部地球工学科事務室	090kchikyu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	総合研究9号館西棟1階
	工学部建築学科事務室	090kkentiku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	総合研究9号館北棟1階
	工学部物理工学科事務室	090kbuturi-g@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	工学部物理系校舎1階
	工学部電気電子工学科事務室	090kdenkidensi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	総合研究9号館北棟1階
	工学部情報学科事務室	iyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	総合研究8号館1階
	工学部理工化学科事務室	090krikoukagaku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	総合研究9号館西棟1階
②	(所属学科事務室に問い合わせること)	(①の連絡先を参照)	

留学情報(工学部ウェブサイト)

<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/students/f-procedures/ie>



▼工学部地球工学科所属学生の一例(シンガポール)

※あくまでも一例ですが、3回生後期の留学推奨。所属するコースや研究室によって異なります。

1年生	2年生	3年生	4年生
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
	応募	留学準備	出願
		留学準備	交換留学

▼工学部理工化学科所属学生の一例 ※コースツリーの都合上、修士課程での留学を推奨しています。

1年生~3年生	4年生	修士1年生	修士2年生
	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
	研究室配属	院試	
		特別研究	
		応募	
		留学準備	
		出願	
		留学準備	
		交換留学	
		卒業	
			就職活動
			研究論文作成
			修了

農学部

	留学相談	連絡先	所在地
①	農学研究科学部教務掛	agri-kyoumu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	北部構内農学部総合館1階
②	(農学研究科学部教務掛に問い合わせること)	agri-kyoumu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	北部構内農学部総合館1階

留学情報(京都大学海外留学情報ポータルサイト)

<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/>



▼農学部所属学生の一例(英国)

1年生	2年生	3年生	4年生
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
応募			
	留学準備		
	出願		
	留学準備		
		交換留学	
		コース配属(資源)	
			分野分属(食・環)
			分野分属(資源・応用生命・地球・森林・食品)
			大学院入試

交換留学のさまざまな疑問に答えます！

交換留学のQ&A

Q. 交換留学に行く時期はいつが良いですか？

A. 所属学部・研究科のカリキュラム、更には学科や研究室の方針などによって異なりますので、まずは教務担当掛や指導教員に相談してみましょう。P23-25では、各学部での相談窓口やモデルケースが掲載されていますので、参考にしてください。

Q. 交換留学先の大学はどうやって決めればいいですか？

A. 交換留学経験者によると、先生や先輩に相談して決めた方が多いようです。指導教員がいる方はその先生に、指導教員がいない方は、ご自身が興味のある分野に詳しい先生にアポを取り、相談してみましょう。なお、各学部には大学選びや学習計画について相談できる窓口を設けているところもあります。P23-25に掲載されている所属学部の②の連絡先に問い合わせしてみましょう。また、世界大学ランキングを見て決める方もいるようです。京都大学はトップクラスの大学と協定を結んでいますので、ランキングで目にする協定校もきっと多いでしょう。

Q. 交換留学の準備にはどのくらいの期間がかかりますか？

A. 交換留学では、本学での専攻に関連した科目を履修、または研究指導を受けることを想定しているケースが多いため、応募者は、自分の専攻領域に合ったプログラムや履修したい講義を開講する協定校を事前に調べ、応募する必要があります。そのため、通常1年半以上の準備期間が必要です。

Q. 交換留学に行くのと留年になりますか？

A. 留学時期や所属学部・研究科のカリキュラム、個人の履修状況によりさまざまなケースがありますので、所属学部・研究科の教務担当掛、指導教員等と相談して計画を立ててください。

京都大学海外留学情報ポータルサイト>FAQ
<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/faq/>



Q. 交換留学に行けばどのくらい単位認定されますか？

A. 所属学部・研究科によって様々なケースがあるため、まずは教務担当掛に相談してみましょう。

Q. 就職活動に影響しますか？

A. まず、希望業界の例年の採用スケジュールについて調べてみましょう。注意を要するのは、帰国時期が一般的な就職活動時期とずれる場合です。帰国時期によっては企業の採用時期が終わっているかもしれませんが、採用活動に柔軟な姿勢を取っているところもあるので、諦めずにコンタクトをしてみましょう。留学中に海外で開催される就職フェアに参加する学生もいます。また、留学のために1年留年することになったとしても、そのこと自体が就職に不利になることはありません。

Q. 語学力はどのくらい必要ですか？

A. 協定校毎に語学要件が定められており、最低でもその語学力がないと、授業の聴講や研究指導を受けることは難しいでしょう。留学生生活を円滑に始めるために、語学力は渡航前から必要です。留学すれば自然と高まるというものでは決してありません。1年生の時から十分な準備をしましょう。

Q. どのような科目を履修することができますか？

A. 大学間の交換留学生は、その大学が開講している科目の大半を受講できますが、医学・薬学・法律・経営・建築など一部専門科目は交換留学生には開講していないこともあります。また、本学での専攻に関連しない科目は受講できない場合がありますので、協定校のファクトシートやウェブサイトなどで確認しておきましょう。

Q. 留学開始時期と京大の試験期間が重複する場合、どうなりますか？

A. 科目によって取り扱いが異なりますので、まずは所属学部・研究科の教務担当掛に確認してください。受験必須となった場合、協定校に遅れての到着が認められるか、応募前に確認しておきましょう。オリエンテーションのみの欠席であれば認められる場合もありますが、初回授業にも間に合わないとなると、受入不可とする大学もあるので注意してください。

Q. 帰国時期が京大の学期途中になる場合、京大の授業はどうなりますか？

A. 所属学部・研究科の教務担当掛にご確認ください。

Q. 本募集と追加募集の違いを知りたいです。

A. 本募集は、基本的には全協定校が募集対象です（一部枠数調整により募集がない協定校もあります）。また、秋学期開始（7-12月）と春学期開始（1-6月）のどちらかを選ぶことができます。追加募集は、本募集で残枠のある大学のみ募集がかかります。出発時期は春学期開始（1-6月）のみです。

Q. 追加募集の協定校はいつわかりますか？また、どれくらい残枠がありますか？

A. 追加募集の対象校は募集開始と同時に発表となります。なお、本募集では英語圏を中心に派遣枠が埋まる傾向にあるため、出来る限り本募集で応募することをおすすめします。

Q. 学内選考では何を重視されますか？

A. 申請書類の内容をふまえ総合的に判断されますが、まずは協定校の語学要件を達成できているかどうか大事なポイントとなります。

Q. 現在持っている英語のスコアが、希望大学の語学要件に足りないのですが…

A. 協定校の語学要件未達で、主に留学先での学習・研究に英語を使用する場合、学内選考では、TOEFL iBT 4 (旧:72) またはIELTS5.5があれば学内募集には応募可能です。ただし、派遣先大学の出願締切の約3か月前までには語学要件を満たすことが必須条件となります。

Q. GPAはどれくらい必要ですか？

A. 学内選考において出願資格に成績基準は設けていませんが、協定校では出願資格としてGPA基準を設けているところもあるため、出来る限り良い成績を取るよう努めましょう。しかし、基準に満たないからといって一概に出願不可となるわけではないので、あまりナーバスになりすぎず、まずは応募してみてください。

Q. 留学時期や期間変更は可能ですか？

A. 学内応募後に、出発時期や期間変更（短縮は除く）はできませんので、よく検討したうえで応募してください。

Q. 大学間の交換留学を対象とした奨学金はありますか？

A. 京都大学独自の奨学金として、安藤忠雄国際奨学金（150万円）、チューリヒ大学・京都大学千本ファンド奨学金（100万円）、ご当地出身学生海外留学支援プロジェクト海外留学奨学金（30万円）、AFLSP Exchange Scholarships for Japanese Students（12500米ドル）があります。その他にも、京都大学から申請し、採択された場合のみ、大学間の交換留学予定者から選抜される日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（協定派遣）による月額8～12万円の給付型奨学金や、財団による奨学金の募集もありますので、KULASISや京都大学海外留学情報ポータルサイトを定期的に確認し、積極的に応募しましょう。



インドで拓く、通信工学への道

工学部3年生 緒方 雄大

DATA

【留学先】インド工科大学グワハティ校

【留学期間】2024年1月～2024年11月(約11か月)

●インド工科大学での学び

私はインド工科大学グワハティ校での2セメスター間の交換留学を通して、1. 専攻分野を確定できたこと、2. その分野の講義を受講しプロジェクトも行ったこと、この2点を実現することができました。留学前は通信分野に興味を抱いていたため、通信のどの分野(デジタル信号処理、無線通信、ネットワーク、アンテナ工学、等)を重視したいかを定めること無く、通信工学に関する講義を広く受講する予定で留学を開始しました。実際1学期目に信号処理の実験、ネットワークとデジタル通信の講義を受講し、各ドメイン間の関係性や様々なアプリケーションを学習した結果、デジタル通信・ワイヤレス通信に重視することに決定しました。2学期目には Stochastic Analysis of Wireless Networks という講義で、推計統計学的にユーザーの数や位置をモデリングして通信を分析・デザインする手法や、無線通信の教科書から、複数のユーザーでのアクセスや周波数帯の利用方法などの知識を学習しました。Stochastic の講義は5人の少人数制で、各々選択した論文からプロジェクトを考え、コーディング、プレゼンテーションまでを行うことを通して、様々な手法を比較することを行いました。論文の選択の段階で多くの英語論文を速読する必要があり、留学で期待していた、英語論文を読む機会に多く触れるという目標も達成できました。加えて印象的であった科目は Communication and DSP Laboratory です。京大では通信工学に特化した実験のコースは無く、電気電子工学系の実習の中で数回実験を行ったのみでしたが、インド工科大学には通信に特化した本実験コースが存在しました。4人班の実験の中で様々な回路を分担して作成し、通信とデジタル信号処理を小規模に実現するというもので、実践的な能力を養うことに繋がりました。個人的には回路作成自体にはあまり興味を持っていませんでしたが、無線通信の全体像を把握する上では必要不可欠な知識であり、更に他の3人のメンバーやTAと議論しながら進めることで、英語



でのディスカッション能力も養うことができた点で非常に有意義なコースでありました。インド人の級友たちは優秀であり主張が強かったため、論理的に主張を組み立てて説得することが、最初は困難であったものの、徐々に改善をし、後の様々な議論のケースなどに活かされたと思います。

●格安で豊かなキャンパス生活

交換留学先のインド工科大学グワハティ校は、基本的に全寮制で、更にキャンパスが街から20kmほど離れていることから、基本的にはキャンパス内で生活することが主でした。キャンパス内には病院、レストラン、ジム、図書館、スポーツ施設などが存在し、生活する上で必要なものは揃っていました。寮は1人部屋

でシャワー・トイレ付き(留学生以外は共用)であり、寮自体も古くはなかったので、基本的には快適に生活することができました。しかし、寮の部屋にはエアコンが設置されておらず、昼間の気温が40℃を超える夏場(6-9月頃)には、扇風機のみで耐えなければならず、非常に厳しかったです。キャンパス内での移動は基本的に自転車でいい、寮から教室は5分程で行くことが可能で、アクセスは良かったと感じます。休日などは街に出ることもあり、街まではキャンパスからのバスで1時間(無料)、あるいは川を渡るフェリーで40分程(約20円)かかりました。グワハティの中心街には、多くのレストランやショッピングモール、カフェなどがあり、友人たちと休日を楽しむこともありました。諸々の価格としては、レストランで400-1,000円、市内バス20円-100円、水1L40円、ビール650mL350円、Wi-Fi月1,000円、寮の食堂で朝100円、昼夜150円と、日本に比べて生活費は非常に安く済ませることができました。

●留学をふりかえって

留学前に掲げた目標としては、1. 専攻分野を確定させる、2. 研究に用いることができるレベルまで英語力を向上させる、3. 幅広く知識を蓄える、ことがありました。1に関しては上記にも述べた通り、無線通信分野に専攻分野を決定させ、短期のプロジェクトなども行うことができたので、達成度としては100%でした。2と3では、英語論文や英語での本・ニュース記事を積極的に読み、インドの歴史や南アジア・世界の政治情勢などを幅広く学習することができました。しかし研究ということになると、英語での不自由さを感じることも多々あるため、全体の達成度としては80%と評価します。

●これから留学する人へのメッセージ

今後留学を計画する人へのアドバイスとしては、留学先の国のことを事前によく勉強することを強く勧めます。自分はインドに以前数回旅行したことがあり、そこでインドの宗教(ヒンドゥー教、イスラム教など)、カースト制度、イギリスの植民地化の歴史、またIT大国としての動向などを事前に学習していました。これらの知識は留学先で友人と話すトピックとなったり、食生活などの文化への理解へと繋がったりするため、留学期間を有意義にする上で非常に役立ちました。また、インドではキャンパス外では英語を話せる人が少ないので、インドや非英語圏に留学を考えている人は現地の言語を多少勉強することを勧めます。



言葉の壁を越え、日仏交流を叶えた留学

文学部3年生 水口 董

DATA

【留学先】ストラスブール大学

【留学期間】2024年9月～2025年6月(約10か月)

●留学先大学での興味深い授業

今回の留学を通して、フランス語力が大いに伸びただけでなく、興味のあるテーマについて幅広い知識を身につけられた。履修した科目、「Histoire moderne 2 (近世史2)」では、講義と演習を通してフランス革命の政治文化と政治実践について学んだ。講義を通して、興味のある革命期の出来事やその研究史について多角的な知識が得られた。一方、演習は史料読解やディセルタション(小論文)の作成、研究に基づく口頭発表を内容としていた。特に、他の学生とグループを組んで行う口頭発表では、議論の中で自分の意見を伝えたり、準備のため皆忙しい中で連絡を取り合い種々の方針を決定したりすることに難しさを感じた。この科目が最終学年向けであったこともあり、テストもハードだったが、その分やり応えがあり身につくものも多い科目であったように感じている。

また、「Civilisation du Japon moderne et contemporain (近代日本の文明)」という科目では、明治維新から現代に至るまでの日本の歴史を概観し、私はこの科目を通して、フランスにおいて日本の歴史がどのように教えられているのかについて少し知ることができた。日本の歴史教育の現場では触れられない、あるいは曖昧にされがちな内容にきちんと触れていたり、ドイツやフランスといったヨーロッパの国の過去や現在とも比較しながら歴史が語られていたりすることが印象的であった。歴史的な問題について、様々なことに思いを巡らせるきっかけとなった。



●フランス語の習得と現地学生との交流

私は専門科目と並行して語学の科目もいくつか受講していた。これは、留学先の大学がフランス語を母語としない学生のために設けた科目であった。中でも、Le pour et le contre (賛成と反対) という科目では、フランス語を用いた討論について学んだ。初めは自分のフランス語力に自信がなく、討論も得意ではなかったため、あまり発言できなかった。しかし、現地の友人と練習したり、事前のリサーチに力を入れたりした結果、最終的には自信をもって討論することができるようになった。

語学面についても、語学科目を通じた練習のほか、友人と積極的に会話し、友人の実家に滞在することにより、かなり成長できたと感じている。また、フランスでは日本が好きで日本語を学んでいる学生に多数出会ったが、彼らは口をそろえて実践の機会の少なさを嘆いていた。そこで、後期にはそのような学生を招き、くつろぎながら主に日本語で会話できる、「日本語会話ピクニック」を開催した。そこでは主に日仏の文化や学生生活について歓談した。私にとってこのピクニックは、文化交流のための非常に良い機会となった。

●ストラスブールでの生活

私はキッチン付きの個室の寮を選んだため、住居面ではほとんどストレスなく暮らすことができた。寮が大学や中心街に近く、日々の移動は容易であった。寮の受付のスタッフもフレンドリーで、何かあればすぐ相談できる環境だった。留学先のストラ

スブールはそこまで大きな街では無かったが、必要なものは一通り揃い、とても暮らしやすかった。さらに、トラムに乗れば20分ほどでドイツにも行けるため、ドイツで日々の買い物をすることもあった。娯楽が少ないことと、ほとんどの店が日曜日や祝日に閉まることは当初不便に感じたが、街には親切な人が多く、電車の乗り方や荷物などで困っていた際には助けてもらったこともしばしばであった。

日々の生活では、大学附属の図書館は広くきれいで、テスト期間を除いて自習場所に困ることは無かった。また、大学は長期休暇のほか定期的に1週間のバカンスがあったので、その期間を活用して、他の都市やヨーロッパの他の国を旅行していたが、とても良い息抜きとなった。また、クリスマスには友人の実家に招いてもらい、フランス式のクリスマスを経験できたのも良い思い出である。

●留学をふりかえって

今回の留学に際し、私はフランス語を用いて歴史を学ぶこと、ストラスブールの歴史を知ること、日本の歴史がどのように見られているかを知ることといった目標をもって臨んだ。今振り返ると、これらの目標を概ね達成できたように思う。授業を通して幅広い知識を身につけられただけでなく、友人との交流の中で日本の歴史がどう見られているのか知ることでもできた。学習面での目標に加え、ビデオゲームに関連した事業にインターン生として携わっている私は、今回の留学でフランスにおいて日本のサブカルチャーがどのように受容されているのか実情を知りたいとも思っていた。これについては、実際に現地で日本関連のイベントに何度か参加したり、友人たちと会話する中で、フランスの人々が日本文化に向けてくれている熱意を知ることができた。さらに、文化交流のためのイベントも開くことができた。また、バカンスや長期休暇を活用してヨーロッパを中心に約40カ国旅行し、見聞を広めることもできた。私にとって今回の留学は非常に実り多いものであった。

●これから留学する人へのメッセージ

まず、非英語圏の大学に留学する場合、試験の回数も限られているため、語学スコアはできるだけ早めに準備したほうが良いと思われる。また、留学の手続き中に少しでも分からないことがあったら、積極的に質問する癖をつけると良いと思う。そして、留学先で友人をつくるには、日本史や日本文化など、日本関連の授業をとることをお勧めしたい。実際、私は学部の友人よりも日本史の授業で知り合った友人と過ごす時間の方が長かった。また、私はゲーム機も持って行ったのだが、現地の友人と一緒に遊ぶことで仲も深まり会話のトレーニングにもなった。留学先での授業の受講には大変なことも多いが、その分得られる学びは一生の宝物になるように思う。少しでも留学を考えている方は、ぜひチャレンジしてほしい。



社会を支える「確かな力」をたどって

法学部2年生 鹿島 瑛人 - Kingfisher Global Leadership Program -

DATA

【渡航先】米国

【渡航期間】2025年8月29日～9月13日

1. このプログラムに申し込んだ最大の動機は何ですか？

この社会を支えている、本当の力とは何なのか。それを自分の目と耳で確かめてみたいと思ったことが、参加を決めた一番の理由です。法学部での学びを通じて、法律や制度が社会の骨組みであることは理解していました。しかし、それらが現実に機能するためには、背後で運用を担う人と、その人が持つリーダーシップが不可欠であるはず。そうした、社会を実際に動かす「確かな力」が、国際社会という大きな舞台でどのように働いているのか、最前線で活躍する人々から直接学びたいと考えました。

2. プログラム中、最も印象に残った具体的な授業やアクティビティは？

スタンフォード大学の Richard Dasher 博士による、AI時代のリーダーシップをめぐる講義が強く心に残っています。博士は、最終的な責任を負えるのは人間だけだと断言されました。AIがどれほど緻密な分析を提示できたとしても、感情や倫理を伴って決断し、その結果を背負うことまではできません。技術が飛躍的に進歩する時代だからこそ、リーダーには「人と向き合い、決断の重みから逃げない」という、極めて誠実で人間味のある姿勢が求められるのだと痛感しました。

3. プログラム中の小さな成功体験を教えてください。

初めての海外経験だったこともあり、英語での議論には当初強い苦手意識がありました。しかし発言を重ねるうち、語彙の多さ以上に、議論を尊重し拙くとも自分の考えを伝えようとする姿勢こそが、人と人をつなぐのだと気づきました。

その確信を深めてくれたのが、プログラム終盤、サンフランシスコのホステルでの出来事です。私が共用スペースのピアノを弾いていると、国籍も年齢も異なる宿泊者たちが集まり、温かな拍手を送ってくれました。言葉が足りなくても、自分の持ちうる表現で場を彩り、心を通わせることができる。この経験は、異なる背景を持つ人々の中で自分なりの役割を見つけ、場に貢献していけるという小さな自信につながりました。

4. この経験が、帰国後の勉強や生活にどう影響していますか？

出発前に探していた「社会を支える本当の力」は、対話から逃げず、最後まで責任を引き受ける人の姿勢にこそ宿るのだと、今、強く実感しています。プログラム中、現地地で出会ったリーダーたちはみな、私たち学生の素朴な質問にも真摯に向き合い、背景や前提を受け止めたうえで言葉を返してくれました。その謙虚で力強い姿勢こそが、制度や組織を実際に機能させる「確かな力」の正体なのだと思います。帰国後は、学部の講義や日常の議論においても、結論の正しさより、その考えに至った過程や背景をいっそう意識するようになりました。この姿勢は、将来どの道を選ぶにしても、自分の行動の指針になると確信しています。

5. 「短期留学だからこそ」のメリットを、次に参加する人へ一言で伝えるなら？

限られた時間だからこそ、一瞬の出会いや言葉をこぼさぬよう五感が研ぎ澄まされます。そうして圧倒的な密度で駆け抜けた記憶は、長期留学とは一味違う、一生消えないほどの鮮烈な解像度で心に残るはず。す

「すでに完成された自分」で参加する必要はありません。むしろ、未完成で、確たる答えを持たずに飛び込むからこそ、すべての出会いを柔軟に受け入れられる。世界で活躍するリーダー、ともにアメリカで過ごす仲間たち、行く先々で出会うさまざまな人々、たくさんの出会いにあふれたこのプログラムを通じて、きっとあなたは「新たな自分」にも出会えることでしょう。



研究のその先を考える

エネルギー科学研究科 博士1年生 平良 大次朗 インド工科大学ハイデラバード校(IITH)サマープログラム

DATA

【渡航先】インド

【渡航期間】2025年9月7日～9月14日

1. このプログラムに申し込んだ最大の動機は何ですか？

まず「インドへの留学」この言葉がとっても魅力的でした。私自身、学部時代に休学しバックパッカーをしていたことがあります。しかし、その期間内でインドに行くことは叶いませんでした。なので「いつか行ってみたい」そんな期待感が募っていました。今回このプログラムを知り、憧れのインドに行けること、さらに関心があった起業に関する内容であったことに強く惹かれました。人口世界一となり、IT大国として急速に成長するインドがどんな国なのか。現地の学生は何を考えて生きているのか。自分の目で確かめたいと考え応募を決めました。

2. プログラム中、最も印象に残った具体的な授業やアクティビティは？

プログラム中で最も印象に残っているのは、3日目の研究室見学前の講義で聞いた「カオスは機会である」という言葉です。カオスであるということは、それだけ解決すべき課題が多く存在し、新しい価値を生み出す余地があるということなのだと感じました。ハイデラバード中心部にあるインキュベーション施設「T-Hub」を訪れ、この言葉の意味を実感しました。施設内には多様な分野の会社があり、自然に会話が生まれる空間が設計され、そこから新しい挑戦や連携が生まれていることが伝わってきました。

3. プログラム中の小さな成功体験を教えてください。

このプログラムでは最終日に、現地の社会課題を解決するビジネスアイデアの発表がありました。私はこれまで学会で発表する際は、台本を作って読む形で発表していました。しかし今回、IITHの学生から「原稿は作るな」「スライドを見て浮かんだことを話す」「とりあえず何回も通しで練習するんだ」と教えられました。加えて「すべてを説明するな。質問させる余白を残せ」という助言も、発表の仕方を変える大きな発見でした。

た。最終的に、本番では原稿なしで熱量あるプレゼンができ、これが私の中で大きな自信となりました。

4. この経験が、帰国後の勉強や生活にどう影響していますか？

今回の経験を通じて「自分の研究はどう社会に役立てられるか」をより意識して考えるようになりました。というのも、IITH研究者は常に「この研究成果をどう社会に活かせるか」「どうやって商品化し、どうやって市場に流通させるのか」までを考えていたからです。研究を継続していくためには、ただ好きでやるだけでは続けられない。どうしても資金が必要です。その資金を獲得するために「研究がどう社会に役立つのか考え、その意義をわかりやすく伝える」ことが重要なのだと身を持って感じられました。

5. 「短期留学だからこそ」のメリットを、次に参加する人へ一言で伝えるなら？

最大のメリットは、「お試し感覚で海外に挑戦できること」だと思います。長期留学に踏み出すのは不安でも1,2週間なら気軽です。そして一人でなく、頼れる仲間も一緒にいます。英語力は上がりませんが、海外への解像度は間違いなく上がります。短期間といえど実際に行ったという経験それ自体が力になります。なので、少しでも興味があるならお試し感覚で気軽に参加してみてください。



短期留学を通して広がった視野と新たな気づき

農学部3年生 北野 藍 フロリダ大学サマープログラム

DATA

【渡航先】米国

【渡航期間】2025年8月31日～9月15日

1. このプログラムに申し込んだ最大の動機は何ですか？

このプログラムに申し込んだ最大の動機は、専門とは異なる分野、海外という環境で英語を用いて学ぶという新たな挑戦をしてみたいと考えたからである。日本にいては得られない価値観や考え方、文化に触れ、専門外の分野にも取り組むことで、物事を多角的に捉える広い視野を養えると考えた。また、実践的な英語力を現地で身につけたいという思いに加え、学校から金銭的支援が得られる点も後押しとなった。時間的・金銭的制約の大きい海外留学において、このような制度は非常に魅力的であった。

2. プログラム中、最も印象に残った具体的な授業やアクティビティは？

特に印象に残っているのは、フロリダの自然や生物をテーマにした授業やアクティビティである。無数の蝶や蛾の標本を実際に見ながら、その生態や研究内容について講義を受けたことは非常に興味深かった。現地生活の中で、フロリダが想像以上に自然豊かな土地であることを実感し、こうした環境が生物研究の発展を支えているのだと感じた。また、野外活動の一環として訪れたシルバースプリングスでは、透明度の高いエメラルドグリーンの淡水泉の美しさに感動し、この自然を守り続ける重要性を強く意識した。野生のワニやカメを間近に見ながらカヌーを体験したことは、忘れられない思い出である。

3. プログラム中の小さな成功体験を教えてください。

小さな成功体験として、参加にあたり掲げていた「積極的に英語を話す」という目標を達成できたことが挙げられる。話す必要に迫られる環境こそが英語力を伸ばす最適な機会だと考え、滞在中は現地学生との交流や授業内での発言を意識的に増やすよう心がけた。具体的には、毎回の授業で必ず一つは英語で質問することを自分に課し、徐々に英語で発言することへの抵抗感を減らしていった。その結果、フロリダ大学の学生とも積極的に会話ができるようになり、最終プレゼンでは意見を出し合いながら英語で議論し、協働して資料を作成することができた。言

いたいことをうまく表現できない場面もあったが、伝えようとする姿勢の大切さを実感し、英語でのコミュニケーションに対する心理的なハードルが大きく下がったことは、自分にとって大きな成果であった。

4. この経験が、帰国後の勉強や生活にどう影響していますか？

このプログラムを通して、言語に自信がなくても自分なりの考えや意見を持ち、それを伝えようとする姿勢が重要であること、また専門外の分野であっても積極的に知ろうとすることで新たな学びや気づきが生まれ、視野が広がるということ学んだ。これらの学びは、帰国後の生活面において特に大きな影響を与えている。現在、外国人スタッフや外国人客の多い職場でアルバイトをしているが、言語面で完璧でなくとも臆せず明るく接することや、日本人である自分だからこそ提供できる価値を意識して行動するようになった。また将来についても、特定の専門分野にとらわれるのではなく、多様な分野や文化と関わりながらグローバルに働ける進路を志向するようになり、自身の選択肢を広げることができている。

5. 「短期留学だからこそ」のメリットを、次に参加する人へ一言で伝えるなら？

短期留学は、時間的・金銭的な負担が比較的少なく、海外で学ぶことへの第一歩を気軽に踏み出せる点が最大の魅力である。期間が限られているからこそ明確な目標を立てやすく、集中的に挑戦できる。また、そこで得た学びや気づきは、将来の進路選択や長期留学への判断材料としても大いに活かすことができる。



外国のことを勉強したいわけでもないのに留学をする意義とは？

総合人間学部3年生 谷 大空 香港中文大学サマープログラム

DATA

【渡航先】香港

【渡航期間】2025年8月3日～8月24日

1. このプログラムに申し込んだ最大の動機は何ですか？

「とりあえず海外に行って視野を広げたい」というのが最大の動機でした。申し込んだ当時は進路に迷っていて、面識のある教授に人生相談を頻繁にしていました。その際におそらく海外に行って視野を広げてほしいという意味で「海外に行ってみたら？」と言われたことが、申し込んだきっかけです。香港を選んだ理由は、単に私が中国語選択だったからというのと、プログラムの費用が安いという割と単純な理由でした。

2. プログラム中、最も印象に残った具体的な授業やアクティビティは？

授業のない日に、「M+」という現代アート的美術館に行った体験が最も印象に残りました。元々アートにそこまで興味があったわけではなかったのですが、現地で仲良くなった友人に誘われて行った結果、「アートってすごい！」と思うようになりました。現代アートは一見意味が分からないのですが、じっくり観察してみると、それが何を表しているのかが自分にとってどういう意味を持つのか分かり、同時に私の見方が変容するのです。そこがすごいのです。M+には、ほかにも香港の歴史などをテーマにした芸術もあって印象的でした。留学期間という活動的になる環境で異なる視点を持つ人と一緒にどこかに行ってみようという体験が、新しい世界を開いたと感じています。

3. プログラム中の小さな成功体験を教えてください。

人生で初めて、google 翻訳に頼りました。京都大学のE2授業等では、まだ英語でコミュニケーションが取れたのですが、香港は人によっては英語どころか普通話の中国語も通じないことがあるので、もう google 翻訳を使わざるを得ませんでした。一見これは失敗体験に見えますが、本当に必要に駆られた場合はどんな手段を使ってでも相手に内容を伝える必要がありますし、そのような強制力が働く環境で手段を選ばず

にコミュニケーションをしようとする潔さがついた点で成功体験だと思っています。

4. この経験が、帰国後の勉強や生活にどう影響していますか？

自分が必要ないと思っているものでも、少しでも気になったら調べてみたり実際に体験してみるという姿勢がついたと思います。また、海外に行ってみる私は日本のことをまだ全然知らないと感じました。いわゆる、「他国に行って初めて自国のことがわかる」というやつですね。海外に行った結果、むしろ自国で出来ることへの興味が強化されましたし、実際に多くのものに興味を持てるようになったことで進路選択も生活も色々良い方向に向かっていきます。

5. 「短期留学だからこそ」のメリットを、次に参加する人へ一言で伝えるなら？

「海外にちょっとだけ興味ある」という人こそ、留学してみよう！



非日常を消費しない

教育学部4年生 上嶋 美紀 タイ・チューラーロンコーン大学スプリングプログラム

DATA

【渡航先】タイ

【渡航期間】2025年2月13日～2月28日

1. このプログラムに申し込んだ最大の動機は何ですか？

学部を卒業するタイミングで4年間を振り返り、留学をしなかったことに心残りを感じたのがきっかけです。この時期からの長期留学は現実的ではありませんでしたが、春休みを利用した短期留学であれば挑戦できると考えました。

2. プログラム中、最も印象に残った具体的な授業やアクティビティは？

チュラ大の日本語専攻生との交流です。両国の民間伝承をテーマとした共同発表に向けて準備をしたり、放課後にはサッカー観戦や寺院巡りをしたりと、授業内外でたくさんの時間を一緒に過ごしました。訪れる先々で大学生活や将来の目標などについて語り合った時間は、何物にも代え難い大切な思い出です。帰国してからもビデオ通話やメッセージのやり取りを続けるほど、親しい友人関係を築くことができました。

3. プログラム中の小さな成功体験を教えてください。

タイ語で簡単な日常会話ができるようになったことです。キャンパス内や観光地で言語の壁を感じることは多くありませんでしたが、ローカルなスーパーなどではほとんど英語が通じず、当初は翻訳アプリに頼りきりでした。それでもプログラム終盤には、拙いながらも学んだフレーズを使って買い物や簡単なやり取りができるようになり、語学力の成長を実感しました。

4. この経験が、帰国後の勉強や生活にどう影響していますか？

海外渡航や国際交流に対する心理的ハードルが下がりました。修士課程に進学してからは、複数の海外大学での短期留学や研究発表に挑戦するなど、より広い視野を持って学習や研究に取り組むことができます。

5. 「短期留学だからこそ」のメリットを、次に参加する人へ一言で伝えるなら？

「毎日が非日常」です。民族衣装に身を包み、民族打楽器を演奏し、象の背に揺られ、伝統菓子を作る……。ここには書ききれないほど、圧倒的な密度で「非日常」を経験しました。短期留学は、刺激的な環境と凝縮された時間の中で、未知の文化や新たな自分に最短距離で出会える貴重な機会です。一方で、その短さゆえにゲストとしてもてなされ、受動的な楽しみだけで終わってしまう危うさも孕んでいます。留学を実りあるものにするためには、与えられる体験をただ消費するのではなく、自ら一步踏み出し、貪欲に学びを吸収しようとする積極性が不可欠であると感じています。



ハイデルベルクでのサマースクールを経て

理学部2年生 池田 慶太 ハイデルベルク大学サマースクール

DATA

【渡航先】ドイツ

【渡航期間】2025年7月29日～2025年9月5日

1. このプログラムに申し込んだ最大の動機は何ですか？

プログラムの情報は一学期の始めに京大のオンライン掲示板で見つけました。時期がちょうど夏休みになっていて都合がよく、また第二外国語としてドイツ語をとっていて勉強に少しモチベーションがあったことと、京大生用に2人分限定での受講費無料枠があったことが参加の決め手であり、やや軽い気持ちで応募をしました。

2. プログラム中、最も印象に残った具体的な授業やアクティビティは？

授業以外にも遠足やコンサート、その他イベントなどの活動が多くプログラム内に企画されていました。それぞれ任意参加ですが、遠足は比較的安くガイドもついており、コンサートやイベントは無料です。それに加えて参加者同士で集まって外食や遊びに行ったりすることが日常的で、それらを通して多くの参加者と交流できたのが楽しかったです。特に参加者たちが食べ物等の自分の国のものを紹介するイベントが印象に残っています。同じ国の人と一緒に準備して、当日は友達は何を作ったのか見に行ったり、自分のところに見に来たり、一緒に見て回ったり、また他の国の人も知り合ったり、という感じで楽しかったです。



イタリアのコーナーは魅力的な食べ物であふれていました。食べ物も飲み物も僕が行く前にすぐに無くなっていましたが、友達が自分で作ったティラミスを僕のために残しておいてくれていま

た。お世辞なく本格的で今までで一番おいしかったです。日本のコーナーとしてはあまりクオリティの高いものができなかった。なので次の参加者はぜひとも頑張ってもらいたいです。何かしら日本から直接持ってくるのいいかもしれないです。

3. プログラム中の小さな成功体験を教えてください。

あまり小さくはない成功だと思えますが、今までに会うことがなかったような人たちと色々な話ができただけが僕にとっての貴重な体験でした。全体的な雰囲気としてはドイツ語の勉強に加えて、この一か月間を楽しむというような雰囲気も強くあり、個人的に一言でいうと青春のような印象でした。各々の国について教えあうことから、どのような動機でプログラムへの参加を決めたのか、それぞれの悩みや大変なこと、どのような将来を考えているか等々。話してみると面白く、思いのほか悲しい話もあったり、案外みんな同じようなことを考えて生きていたり。

4. この経験が、帰国後の勉強や生活にどう影響していますか？

正直にいうと、帰ってからの日常がやや退屈に感じますが、他国について関心を持つようになり、現地で感じた英語力の至らなさや自分の国についての知識不足を改善しようと時折思うようになりました。ドイツ語の勉強も続けています。

5. 「短期留学だからこそ」のメリットを、次に参加する人へ一言で伝えるなら？

比較的気軽に、濃密な時間を過ごせます。

京都で「疑似留学」! アイビーリーグ生と学んだ4カ月

工学部4年生 小島 拓朗 KCJS英語講義 2025年春学期受講

DATA

【受講期間】2025年1月～2025年4月
(約4か月)

私がKCJSで受講した科目「Gender and Identity in Japanese History and Culture」は、90分の授業が週に2回行われた。前半の1回は講義が中心、後半の1回は毎週の課題図書の前読をもとにディスカッションを行う授業だった。京都大学でいくつかのE2科目を履修したことがあったものの、難解な図書が課される週や、課題図書の量が多い週には苦戦した。当然のことながら、授業のディスカッションのスピードはとても速く、白熱した彼らの議論についていくことにも苦しんだ。しかし、課題図書や、講義内容、議論の内容はとても興味深かった。授業中は、近くに座っている日本語が堪能なアメリカ人クラスメイトに議論の展開の理解を確かめたり、発言の中に含まれていたジョークを解説してもらったりと、必死に授業に食らいついた。学期を通して3本のレポートとプレゼンテーションが課され、レポート課題はそれぞれ、2ページから6ページ程度だった。私は先生と何度か面談し、とても興味のあったテーマで課題をまとめることができた。また、様々な興味や関心を持つクラスメイトとともに多様な視点や意見を受け入れながら、「ジェンダー」というテーマに4か月間じっくり取り組むことができたのは非常に貴重な経験だったと感じている。

KCJS春学期の1月から4月という時期は京都大学生にとって学期と休暇期間をまたぐ時期にあたるが、KCJSに参加したこ

とで充実した時間を過ごすことができたと感じている。KCJSの良い点は主に2つあり、まず講義自体がとても興味深いという点だ。私が受講したGender and Identity in Japanese History and Cultureは、新しく知ることばかりで毎回刺激に溢れており、疑似留学のような体験ができた。もう一つの素晴らしい点は、アイビーリーグをはじめとする世界のトップの大学からの大学生と出会えるという点だ。アメリカから京都に留学してくる彼らは、自身の専攻分野は当然のことながら、他分野へ学問の興味や政治・文化・言語への興味など知的好奇心と積極性にあふれている。日常のことから少し抽象的な話まで造詣が深い彼らと一人の友人として向き合うことができた時間は、とても心に残っている。

私が受講した講義では、古代まで遡り卑弥呼や古事記の内容から始まった。正直、古代の内容にあまり興味が持てず、このまま受講を続けられるか不安になった。しかし、私が初め感じていた心配は杞憂であった。ほかの授業の受講生の話なども聞いていると、KCJSが開講する授業はどれも刺激にあふれている。そのため、どの授業を受講しても充実した時間を過ごすことができるのだらうと感じている。



支えられ、走り抜いた「英語で学ぶ日本の宗教」

法学部3年生 中田 怜 SJC英語講義 2025年春学期受講

DATA

【受講期間】2025年4月～2025年6月
(約3か月)

私は、SJC英語講義で「Contemporary Religion in Japan's Ancient Capital Sustaining and Recasting Tradition」という科目、日本の現代宗教に関する授業に参加した。講義を担当する先生によるスライドを活用した授業内容に加え、最後の授業では各学生が現代宗教をテーマに自由に選んだ題材で、各々10分程度の英語プレゼンテーションを行った。授業期間中には伊勢神宮や嵐山、平等院などへのフィールドトリップが7回ほど実施され、スタンフォード大学からの留学生たちと様々な場所へ出かける機会があった。私は英語力に不安があったため、最初は授業についていけないか心配していたが、フィールドトリップで実際の宗教施設や文化財を目にすることで理解が深まり、大変有意義であった。また、先生は非常に丁寧な指導をしてくださり、私が十分に理解できていないときは日本語で補足説明をしてくださるなど、学習支援が手厚かった。発言時には拙い英語でも真摯に受け止めてくださり、必要に応じて表現を補足してクラス全体に共有していただいたため、安心して意見を述べることができた。課題については、毎週のリーディング課題と5回程度のライティング課題が課され、リーディングは分量が多く、当初は負担に感じた。しかし宗教学に興味があったため、内容そのものは興味深く、前向きに取り組むことができた。英語でプレゼンテーションを行うのは初めてで不安だったが、先生やクラスメイトが温かく受け入れてくれたことで、楽しみながら取り組むことができた。

先ほども述べたが、私は英語力に自信がなかったため、当初は

クラスに馴染めるか不安であったが、スタンフォード大学の学生達は非常に友好的で、私の拙い英語にも笑顔で耳を傾けてくれた。彼らは日本語を学習しているため、平易な表現でゆっくり話すと、日本語の練習になると喜び、日本語でも積極的に会話してくれた。本授業はフィールドトリップが多く、行き帰りに一緒に食事をする機会が自然と生まれたため、授業外でも食事や観光に出かけ、交流を深めることができた。SJCの学生は多くが19～20歳で私より年下だったが、勉学に対して非常に意欲的で、その姿勢に刺激を受けた。また、同志社大学から参加していた学生には特に助けられた。彼女は留学経験があり英語が堪能であったため、私が交流に苦労している際には必ず気にかけて声をかけてくれ、支えてくれた。SJCにはこのように思いやりのある学生が多く在籍しており、英語力に不安を感じている学生にもぜひ参加してほしいと強く感じた。





国際高等教育院国際教育プログラムについて

「国際高等教育院国際教育プログラム (Institute for Liberal Arts and Sciences International Education Program)」は、英語による全学共通科目や、Kyoto iUP *1の留学生とともにグループワークやプロジェクト等に取り組む科目の履修に加え、海外留学の経験を積むことで、異文化や異なる価値観を理解し、新たな価値観を創造する真の国際性を涵養する学部教育プログラムです。プログラム修了者には、京都大学総長名の修了証を交付します。

*1 留学生向けの教育プログラム Kyoto University International Undergraduate Program の略称。

■履修する科目等 (修了要件)

- (1) E1科目又はE2科目 ((2)、(3) に掲げるものを除く。) から14単位以上の修得
- (2) 「ILAS Seminar-E2」から4単位以上の修得
- (3) 「Interdisciplinary Sciences-E2 :Global Changes」2単位または「Interdisciplinary Sciences-E2 :Foods and Microbes」2単位の修得
- (4) 海外留学による科目の履修またはこれによる単位の修得 (4単位相当以上)

※大学間・部局間の学生交流協定に基づく交換留学制度等を利用し、4単位相当以上の科目の履修またはこれによる単位の修得をしてください。

■定員30名 (学部生対象)

■応募資格

以下、(1) (2) を満たすこと。

- (1) 令和8年度4月時点で学部1回生または2回生の者
- (2) 以下のいずれかの英語試験のスコアを満たす者
 - ・TOEFL ITPのスコアが570点以上であること
 - ・TOEFL iBTのスコアが80以上であること
 - ・IELTSのスコアが6.0以上であること

※本学に留学している学生は、応募できません。

■留学費用をサポート：上限50万円の支援があります。

プログラム内容・支援金等に変更される可能性があります。最新の募集要項等詳細は、京都大学国際高等教育院Webサイトを参照してください。(京都大学国際高等教育院Webサイト <https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>)



履修者の声

私は半年間、オーストラリアのシドニー大学に交換留学をしました。学生の約半数が留学生という国際色豊かな環境に身を置くことができ、私の視野は大きく広がりました。

シドニーでは物価が高く日本の2倍ほどでしたが、このプログラムの奨学金支援のおかげで不安なく出国することができました。滞在中は大学の日本文化サークルや編み物のサークルに参加し、留学生向けの授業でスポーツ観戦や競馬場見学を体験するなど、現地の文化に深く触れる充実した時間を送ることができました。

帰国前には初めての一人旅でウルルを訪れました。地球の果てのような広大な景色を見て、留学を通じて精神的な自立ができた実感しました。

(経済学部生・留学先：オーストラリア シドニー大学)



ドイツのハイデルベルク大学で、2024年8月から1年間の交換留学を行いました。所属は哲学部でしたが、社会学や歴史学などの講義にも参加して興味の赴くままに学ぶことができました。現地の友達も沢山でき、楽しい交流や真剣な議論を通じて全く新しい視野を得ることができました。特に、気候変動や差別、戦争といった社会課題に対して、当事者意識を持って行動するようになったのが大きな成長だと感じています。為替の変動で予想より生活費や保険料が高まりましたが、当支援金のおかげで安心して生活することができました。中世の街並みに囲まれたドイツ最古の大学で一生懸命に学んだ経験は、ずっと色褪せないだろうと思います。

(教育学部生・留学先：ドイツ ハイデルベルク大学)





大学間学生交流協定一覧


協定校は約150校

京都大学では、海外の大学・研究機関と「大学間学生交流協定」を締結しています。

学生交流協定は、学生の交流（交換留学）について、「在籍する大学に授業料を納めることにより派遣先大学での授業料等を不徴収とすること」「協定校で修得した単位の一部を在籍する大学で修得したものとして認める単位互換」などについての取り決めをしています。

また、大学同士で締結される大学間学生交流協定の他に、部局同士で締結される部局間学生交流協定があります。部局間学生交流協定による留学に関しては、所属学部・研究科の教務担当掛に問い合わせてください。

●語学要件等の出願情報は「京都大学海外留学情報ポータルサイト」の協定校一覧を参考にしてください。なお、語学要件等は事前予告なく変更になることがあります。必ず協定校のファクトシートやウェブサイトでも最新の情報を確認するようにしてください。また、派遣枠数も募集毎に変わりますので、必ず学内応募時の募集要項を参照してください。

 [京都大学海外留学情報ポータルサイト> 留学プログラム>協定校一覧](https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/program/partner-universities/)

<https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/program/partner-universities/>



2025年12月1日現在

国・地域	協定校名
アジア	
ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学 University of Brunei Darussalam
中国	香港中文大学 Chinese University of Hong Kong
	復旦大学 Fudan University
	香港理工大学 Hong Kong Polytechnic University
	香港科技大学 Hong Kong University of Science and Technology
	南京大学 Nanjing University
	南開大学 Nankai University
	北京大学 Peking University
	上海交通大学 Shanghai Jiao Tong University
	清華大学 Tsinghua University
	香港大学 University of Hong Kong
	武漢大学 Wuhan University
西安交通大学 Xi'an Jiaotong University	
浙江大學 Zhejiang University	
インド	バラナシ・ヒन्दゥー大学 Banaras Hindu University

国・地域	協定校名
インド	インド理科大学院 Indian Institute of Science
	インド工科大学ボンベイ校 Indian Institute of Technology Bombay
	インド工科大学グワハティ校 Indian Institute of Technology Guwahati
	インド工科大学ハイデラバード校 Indian Institute of Technology Hyderabad
インドネシア	インド工科大学カーンプル校 Indian Institute of Technology Kanpur
	ガジャマダ大学 Gadjah Mada University
	バンドン工科大学 Institut Teknologi Bandung
	IPB大学 IPB University
マレーシア	インドネシア大学 University of Indonesia
	マレーシア工科大学 Universiti Teknologi Malaysia
マラヤ大学 University of Malaya	
	フィリピン
シンガポール	南洋理工大学 Nanyang Technological University
	シンガポール国立大学 National University of Singapore
韓国	韓国科学技術院 Korea Advanced Institute of Science and Technology
	高麗大学校 Korea University

国・地域	協定校名
韓国	慶北大学校 Kyungpook National University
	浦項工科大学 Pohang University of Science and Technology
	ソウル大学校 Seoul National University
	延世大学校 Yonsei University
台湾	国立成功大学 National Cheng Kung University
	国立台湾大学 National Taiwan University
	国立清華大学 National Tsing Hua University
タイ	チェンマイ大学 Chiang Mai University
	チュラロンコン大学 Chulalongkorn University
	カセサート大学 Kasetsart University
	タマサート大学 Thammasat University
ベトナム	ダナン大学 University of Da Nang
	ベトナム国家大学ハノイ校 Vietnam National University, Hanoi
オセアニア	
オーストラリア	オーストラリア国立大学 Australian National University
	チャールズ・ダーウィン大学 Charles Darwin University
	アデレード大学 Adelaide University
	メルボルン大学 University of Melbourne
	ニューサウスウェールズ大学 University of New South Wales
	クィーンズランド大学 University of Queensland
	シドニー大学 University of Sydney
ニュージーランド	オークランド大学 University of Auckland
	オタゴ大学 University of Otago
北米	
カナダ	コンコルディア大学 Concordia University
	マギル大学 McGill University
	サイモン・フレーザー大学 Simon Fraser University
	ブリティッシュコロンビア大学 University of British Columbia
	トロント大学 University of Toronto
	ウォータールー大学 University of Waterloo
米国	アリゾナ州立大学 Arizona State University

国・地域	協定校名
米国	ジョージワシントン大学 George Washington University
	ノースイースタン大学 Northeastern University
	カリフォルニア大学サンディエゴ校 University of California, San Diego
	カリフォルニア大学サンタ・クルーズ校 University of California, Santa Cruz
	フロリダ大学 University of Florida
	ハワイ大学マノア校 University of Hawaii at Mānoa
	メリーランド大学カレッジパーク校 University of Maryland, College Park
	ノートルダム大学 University of Notre Dame (du Lac)
	ロチェスター大学 University of Rochester
	テキサス大学オースティン校 University of Texas at Austin
	ワシントン大学 University of Washington
ウィスコンシン大学マディソン校 University of Wisconsin-Madison	
中南米	
ブラジル	サンパウロ大学 University of São Paulo
チリ	チリ大学 University of Chile
メキシコ	モンテレイ工科大学 Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey
	グアダラハラ大学 University of Guadalajara
欧州	
オーストリア	ウィーン大学 University of Vienna
ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学 KU Leuven
デンマーク	コペンハーゲンビジネススクール Copenhagen Business School
フィンランド	アアルト大学 Aalto University
	ヘルシンキ大学 University of Helsinki
フランス	エコール・ノルマル・シュペリウール(高等師範学校) École normale supérieure - PSL
	グルノーブル理工科大学 Grenoble INP (Graduate schools of Engineering and Management, Université Grenoble Alpes)
	パリ政治学院(シアンス・ポ) Institut d'études politiques de Paris(Sciences Po)
	パリ国立高等鉱業学校 Mines Paris - PSL
	フランス国立東洋言語文化研究所 (フランス東洋言語文化大学) National Institute for Orientales Languages and Civilizations

国・地域	協定校名
フランス	グルノーブル政治学院 Sciences Po Grenoble (School of Political Studies, Université Grenoble Alpes)
	グルノーブル・アルプ大学 Université Grenoble Alpes
	パリ・シテ大学 Université Paris Cité
	ストラスブール大学 Université de Strasbourg
	ボルドー大学 University of Bordeaux
ドイツ	ベルリン自由大学 Free University of Berlin
	ハイデルベルク大学(ルプレヒト・カール大学ハイデルベルク) Heidelberg University
	フンボルト大学ベルリン Humboldt University of Berlin
	カールスルーエ工科大学 Karlsruhe Institute of Technology
	ベルリン工科大学 Technical University of Berlin
	ドルトムント工科大学 TU Dortmund University
	ドレスデン工科大学 TU Dresden
	アーヘン工科大学 RWTH Aachen University
	ミュンヘン工科大学 Technical University of Munich
	ハンブルク大学 Universität Hamburg
	ボン大学 (ライン・フリードリヒ・ヴィルヘルム大学ボン) University of Bonn
	ケルン大学 University of Cologne
	ゲッティンゲン大学 (ゲオルク・アウグスト大学ゲッティンゲン) University of Göttingen
	ミュンスター大学 University of Muenster
ミュンヘン大学 (ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン) University of Munich	
シュトゥットガルト大学 University of Stuttgart	
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学 Eötvös Loránd University
アイスランド	アイスランド大学 University of Iceland
アイルランド	アイルランド国立大学ダブリン校 (ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン) University College Dublin, UCD National University of Ireland
	トリニティ・カレッジ・ダブリン (ダブリン大学トリニティ・カレッジ) University of Dublin, Trinity College Dublin

国・地域	協定校名
イタリア	ヴェネツィア大学 Ca' Foscari University of Venice
	ミラノ工科大学 Politecnico di Milano
	ローマ・ラ・サピエンツァ大学(ローマ大学) Sapienza University of Rome
ルクセンブルク	ルクセンブルク大学 University of Luxembourg
オランダ	エラスムス・ロッテルダム大学 Erasmus University Rotterdam
	ライデン大学 Leiden University
	マーストリヒト大学 Maastricht University
	フローニンゲン大学 University of Groningen
	ユトレヒト大学 Utrecht University
	ワーヘニンゲン大学 Wageningen University and Research
ノルウェー	ノルウェー科学技術大学 Norwegian University of Science and Technology
ポーランド	ヤギェウォ大学 Jagiellonian University
ロシア	サンクトペテルブルク大学 Saint Petersburg University
スペイン	マドリード自治大学 Universidad Autónoma de Madrid
	バルセロナ自治大学 Universitat Autònoma de Barcelona
	バルセロナ大学 Universitat de Barcelona
	ナバーラ大学 University of Navarra
スウェーデン	チャルマース工科大学 Chalmers University of Technology
	スウェーデン王立工科大学 Royal Institute of Technology (KTH)
	ストックホルム大学 Stockholm University
スイス	ベルン大学 University of Bern
	ローザンヌ大学 University of Lausanne
	チューリヒ大学 University of Zurich
英国	ダラム大学 Durham University
	キングス・カレッジ・ロンドン King's College London (KCL)
	ニューカッスル大学 Newcastle University
	ロンドン大学クイーン・メアリー Queen Mary University of London
	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン University College London
	バーミンガム大学 University of Birmingham
	ブリストル大学 University of Bristol
エクセター大学 University of Exeter	

国・地域	協定校名
英国	グラスゴー大学 University of Glasgow
	リーズ大学 University of Leeds
	マンチェスター大学 University of Manchester
	ノッティンガム大学 University of Nottingham
	シェフィールド大学 University of Sheffield
	サウサンプトン大学 University of Southampton
	サセックス大学 University of Sussex
	ウォーリック大学 University of Warwick
	ヨーク大学 University of York
中東	
イスラエル	テルアビブ大学 Tel Aviv University
トルコ	コッチ大学 Koç University



部局間学生交流協定一覧

★印のついた派遣枠数は複数部局の合計派遣枠数を指します。

2025年12月1日現在

国・地域	協定校名(部局名)	派遣 枠数	学部生 対象	院生 対象
総合人間学部・人間・環境学研究所				
台湾	国立台湾大学(文學院、社会科学院)	*2	○	○
文学部・文学研究科				
中国	北京大学(中国語文学系、歴史系、哲学系(宗教学系))	5	○	○
台湾	国立台湾大学(文學院、社会科学院)	*2	○	○
アルメニア	ロシア＝アルメニア大学人文研究所	2	○	○
ブルガリア共和国	ソフィア大学 スラヴ学部と古典・近代人文学部	2	○	○
エストニア	タリン大学人文学科	2	○	○
フランス	パリ第8大学 ([「歴史、文学、社会学」学部])	2	○	○
	ストラスブール大学(外国語学部/日本学科、社会学部、文学部、歴史学部)	2		○
ドイツ	ハイデルベルク大学(トランスカルチュラル・スタディーズ・センター)	*5	○	○
カザフスタン共和国	アル＝ファラビ名称カザフ国立大学5部局	2	○	○
ポーランド	ワルシャワ大学	2	○	○
ロシア	カザン連邦大学	2	○	○
スイス	ジュネーヴ大学(文学部)	2	○	○
法学部・法学研究科				
ベルギー	エネルギー憲章事務局	*2		○
オランダ	国際刑事裁判所	若干名	○	○
英国	ケンブリッジ大学(アジア中東学部)/青井奨学会(大学院生のみ)	1		○
経済学部・経済学研究科				
中国	香港中文大学(工商管理學院)	1	○	
	南開大学(經濟學院)	2	○	○
	北京大学(經濟學院/光華管理學院)	2	○	○
	中国人民大学(經濟學院)	2	○	○
	香港大学(經營學院)	1	○	
インドネシア	ガジャマダ大学(經濟經營学部)	1	○	○
フィリピン	フィリピン大学ロスバニョス校	2	○	○

国・地域	協定校名(部局名)	派遣 枠数	学部生 対象	院生 対象
シンガポール	シンガポールマネジメント大学	2	○	○
韓国	慶北大学校(經商大學)	2	○	○
台湾	国立政治大学(社会科学學院)	2	○	○
	国立台湾大学(社会科学院)	2	○	○
タイ	チェンマイ大学(經濟学部)	1	○	○
	チュラロンコン大学(經濟学部)	1	○	○
	カセサート大学(經濟学部)	1	○	○
	タマサート大学(經濟学部)	1	○	○
	タマサート大学(政治学部)	1	○	○
米国	ブランダイス大学	2	○	
ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学(經濟經營学部)	2	○	○
ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学(經濟經營学部)	3		○
	ハイデルベルク大学(トランスカルチュラル・スタディーズ・センター)	*5		○
オランダ	ワーヘニンゲン大学	*4	○	○
スペイン	バルセロナ大学	2	○	○
スウェーデン	ヨンショーピング大学(国際ビジネススクール)	2	○	○
英国	イースト・アングリア大学(經濟学部)	4	○	
理学部・理学研究科				
ドイツ・フランス・米国・中国	GlobalMathNetwork: ボン大学(ハウスドルフ数学センター)・エコールノルマルシュペリウール(応用数学科)・ニューヨーク大学(クーラント数理科学研究所)・北京大学(北京国際数学研究センター) ※博士後期課程の学生のみ	若干名		○
英国	エジンバラ大学	2		○
マダガスカル	アンタナナリヴ大学(理学部及び芸術・人間科学部)	*2	○	○
医学部・医学研究科				
中国	復旦大学(上海医学院)	2	○	○
	華中科技大学(同済医学院)	2	○	○
シンガポール	シンガポール国立大学(医学部)	2	○	

国・地域	協定校名(部局名)	派遣 枠数	学部生 対象	院生 対象
韓国	ソウル大学校(医科大学)	2	○	○
	延世大学校(医科大学)	2	○	○
台湾	高雄医学大学(医学院)	2	○	○
	国立台湾大学(医学院)	2	○	○
	台北医学大学	2	○	○
タイ	マヒドン大学(医学部シリラート病院)	2	○	○
米国	ブラウン大学(医学部)	3	○	
	コロンビア大学(医学部)	2	○	
	カリフォルニア大学サンディエゴ校(医学部)	2	○	
フィンランド	オウル大学(医学部)	2	○	○
フランス	ボルドー大学、ボルドー大学病院	2	○	○
ドイツ	チュービンゲン大学(医学部)	2	○	
	マックスデルブリュック分子医学センター	2	○	○
イタリア	分子腫瘍学財団研究所	2	○	○
薬学部・薬学研究科				
フランス	レンヌ化学大学院	1		○
ドイツ	チュービンゲン大学(薬学部)	2	○	○
イタリア	ミラノ大学(薬学研究科)	2		○
工学部・工学研究科				
中国	香港中文大学(深圳)(理工学部)	3	○	○
	香港城市大学(理工学研究科)	2		○
	東南大学研究学院	3	○	○
インドネシア	ブラウウィジャヤ大学(工学部・工学研究科)	3	○	○
台湾	国立成功大学(工学院)	3	○	○
タイ	アジア工科大学(工業技術研究科・環境資源開発研究科)	*3		○
	マヒドン大学(工学部)	5	○	○
ニュージーランド	ウェリントン・ヴィクトリア大学(理学部、工学部、建築デザイン学部、ロビンソン研究所、フェリエ研究所)	3		○
カナダ	トロント大学(理工学部)	4	○	○
フランス	国立パリ建築大学ラ・ヴィレット校	3		○
	国立高等研究実習院	2		○

国・地域	協定校名(部局名)	派遣 枠数	学部生 対象	院生 対象
フランス	レンヌ第一大学(物質高等部)	3		○
	レンヌ第一大学(ランニオン工業大学)	3	○	
	レンヌ第一大学(物質構造物性部)	3		○
ドイツ	ハインリヒ・ハイネ大学(有機化学及び高分子化学研究所)	4	○	○
	ドルトムント工科大学(生物化学・化学工学部)	*3	○	○
	フライブルグ大学(工学部)	2	○	○
スウェーデン	リンシェーピン大学	*2	○	○
ケニア	ジョモケニアアッタ農工大学	*2		○
農学部・農学研究科				
バングラデシュ	バングラデシュ農業大学	2	○	○
カンボジア	王立農業大学	2	○	○
	カンボジア工科大学	4	○	○
中国	中国農業大学	2	○	○
	中国農業科学院(農業環境及び持続可能発展研究所)	2	○	○
	華中農業大学	4	○	○
	江南大学	2	○	○
	吉林農業大学	2		○
	昆明理工大学(生命科学・工学部)	2	○	○
	南京農業大学	2	○	○
	東北林業大学(林学部)	2	○	○
	東北農業大学	2	○	○
	西北農林科技大学	2	○	○
	山東大学(泰山学堂、生物学院、環境科学・工学院、化学・化学工学院)	2	○	○
	上海海洋大学	2	○	○
瀋陽農業大学	2	○	○	
天津大学(建築工程学院)	2	○	○	
華南農業大学	2	○	○	
同濟大学(土木工程学院)	2	○	○	
浙江大学(生物工学・食品科学学院、農学生命環境科学部)	2	○	○	
インド	インド工科大学カラグプール校	2	○	○
インドネシア	IPB大学	2	○	○

国・地域	協定校名(部局名)	派遣 枠数	学部生 対象	院生 対象
インドネシア	ムラワルマン大学 (林学部、数理学部、農学部)	2	○	○
	タンジュンブラ大学(森林学部、農学部、 数学自然科学部、工学部)	2	○	○
	ガジャマダ大学 (農業工学部・森林学部)	2	○	○
	ブラヴィジャヤ大学 (農学部、農業技術学部)	2	○	○
マレーシア	プトラ・マレーシア大学	3	○	○
韓国	国立慶尚大学(農学生命科学部)	2	○	○
	国立韓京大学(農学・生命科学研究科)	2	○	○
	ソウル国立大学(農学・生命科学部)	2	○	○
	成均館大学(生命工学部)	2	○	○
台湾	国立中興大学(農業・自然資源学部)	2	○	○
	国立宜蘭大学(生物資源学院)	2	○	○
	国立台湾大学(生物資源科学農学院)	2	○	○
	国立台湾大学(生命科学院)	2	○	○
タイ	チェンマイ大学(農学部)	3	○	○
	カセサート大学 (農学部、カムベンセン校農学部、水産 学部、森林学部、経済学部、農産学部、 理学部)	5	○	○
	コンケン大学(農学部)	2	○	○
	キングモンクット工科大学ラーカバン校 (農学部)	2	○	○
	キングモンクット工科大学トンブリ校 (生物資源科学部)	2	○	○
	ベトナム	カントー大学(環境・自然資源学院)	3	○
	フエ大学	*5	○	○
カナダ	アルバータ大学(農学・生命・環境学部)	*2		○
	ブリティッシュ・コロンビア大学 (林学部)	2	○	○
米国	ワシントン州立大学 (農業・人間・天然資源科学部)	2		○
オーストリア	ウィーン農科大学	2		○
ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学 (生物科学工学研究科)	5	○	○
フランス	農業研究所	3	○	○
	ロレーヌ大学(理工学部、Pôle A2F)	2	○	○
ドイツ	ゲッティンゲン大学(農学部)	2	○	○
	ルール大学ボーフム校 (土木環境工学部)	2	○	○
	ドレスデン工科大学(理学部)	2	○	○

国・地域	協定校名(部局名)	派遣 枠数	学部生 対象	院生 対象
イタリア	モリーゼ大学(農業・環境・食品科学部)	2	○	○
オランダ	ワーヘニンゲン大学	*4	○	○
スペイン	バレンシア工科大学	2	○	○
英国	ハーバーアダムス大学	2	○	○
タンザニア	ソコイネ農業大学	2	○	○
マダガスカル	アンタナナリヴ大学(理学部及び芸術・ 人間科学部)	*2	○	○
	マハジャンガ大学	*2	○	○
エネルギー科学研究科				
ドイツ	ドルトムント工科大学 (生物化学・化学工学部)	*3		○
マダガスカル	アンタナナリヴ大学(エネルギー管理 研究所)	2		○
スウェーデン	リンシェーピン大学	*2		○
アジア・アフリカ地域研究研究科				
ミャンマー	ミャンマー林業環境科学大学	*2		○
タイ	チェンマイ大学(社会科学部)	2		○
	モンクット王工科大学ラートクラバン 校建築学部	2		○
ベトナム	フエ大学	*5		○
ボツワナ	ボツワナ大学人文学部	2		○
カメルーン	ヤウンデ第一大学	2		○
コンゴ民主共和国	キンシャサ大学理学部	2		○
エチオピア	アジスアベバ大学ジェンダー研究センター	2		○
	アジスアベバ大学社会科学部	2		○
	アジスアベバ大学エチオピア研究所	2		○
	アジスアベバ大学公衆衛生学研究科	2		○
ガーナ	ガーナ大学農学研究科	2		○
ケニヤ	ジョモケニアアッタ農工大学	*2		○
マダガスカル	マハジャンガ大学	*2		○
	アンタナナリヴ大学 (理学部及び芸術・人間科学部)	*2		○
セネガル	ダカール大学(シェイク・アンタ・ ジョップ大学)人文科学部	2		○
タンザニア	ソコイネ農業大学	*2		○
ウガンダ	マケレレ大学農業・環境科学部	2		○
ザンビア	ザンビア大学総合水資源管理センター	2		○

国・地域	協定校名(部局名)	派遣 枠数	学部生 対象	院生 対象
情報学研究科				
台湾	国立陽明交通大学 (計算機科学院、電気計算機工學院)	4		○
デンマーク	オールボー大学 (情報技術・デザイン技術学部)	2		○
	コペンハーゲンIT大学	2		○
エストニア	タリン工科大学(情報学研究科)	2		○
フランス	ソルボンヌ大学	4		○
スウェーデン	リンシェーピング大学	*2		○
生命科学研究科				
モンゴル	モンゴル国立大学(工学技術学部)	2		○
台湾	国立台湾大学(生物資源及び農學院)	3		○
	国立台湾大学(生命科學院)	3		○
	国立台湾大学(医學院)	3		○
米国	ミシガン州立大学(自然科学部)	4		○
地球環境学舎				
カンボジア	王立農業大学	5		○
インドネシア	バンドン工科大学(生命理工学部)	2		○
	IPB(ボゴール農業)大学	5		○
	インドネシア大学(経済経営学部)	3		○
タイ	アジア工科大学(工業技術研究科・環境資源開発研究科)	*3		○
	マヒドン大学(工学部)	5		○
	マヒドン大学(公衆衛生学部)	5		○
ベトナム	ハノイ理科大学(化学生命研究科)	5		○
	フエ大学	*5		○
	ダナン大学	5		○
カナダ	アルバータ大学(農学・生命・環境学部)	*2		○
ドイツ	ドルトムント工科大学 (生物化学・化学工学部)	*3		○
カザフスタン	カザフ国立農業大学	2		○
スペイン	バレンシア工科大学	2		○
スイス	スイス連邦工科大学チューリッヒ校	*2		○
タンザニア	ソコイネ農業大学	*2		○

国・地域	協定校名(部局名)	派遣 枠数	学部生 対象	院生 対象
公共政策教育部				
ベルギー	エネルギー憲章事務局	*2		○
経営管理教育部				
中国	北京大学(光華管理学院)	2		○
シンガポール	シンガポール経営大学 (リー・コンチャン・ビジネススクール)	2		○
韓国	釜山国立大学(経営大学院)	4		○
	ソウル国立大学(ビジネススクール)	2		○
台湾	国立政治大学(商学院)	2		○
	国立台湾大学(管理学院)	2		○
タイ	チュラロンコン大学 (ビジネススクール)	2		○
米国	サウスカロライナ大学(ダーラム-ア ビジネススクール)	2		○
ベルギー	ブリュッセル自由大学(ソルベイブ リュッセル経済経営学院)	2		○
フランス	アムリヨンビジネススクール	2		○
	グルノーブル・エコール・ド・マネジメント	2		○
	パリ経営大学院(HECパリ)	4		○
	トゥールーズビジネススクール	2		○
	ストラスブール大学(経済経営大学院)	2		○
ドイツ	チュービンゲン大学 (経済学、社会学部)	2		○
	ミュンヘン工科大学	4		○
	ハンブルク大学	4		○
	WHU - Otto Beisheim 経営大学	2		○
ポルトガル	ノヴァ・デ・リスボン大学(経営経済大 大学院)	2		○
スペイン	EADA ビジネススクール	1		○
トルコ	イズミール経済大学	4		○
	コッチ大学(管理・経済大学院)	4		○



ダブル・ディグリー、ジョイント・ディグリー協定一覧

ダブル・ディグリー協定一覧

2025年12月1日現在

国・地域	協定校名	実施部局名
中国	清華大学 Tsinghua University	地球環境学舎 工学研究科(都市環境工学専攻)
	浙江大学 Zhejiang University	エネルギー科学研究科
インドネシア	IPB(ボゴール農業)大学 IPB University	農学研究科 地球環境学舎
	バンドン工科大学 Institut Teknologi Bandung	農学研究科
	ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada	農学研究科
マレーシア	マラヤ大学 Universiti Malaya	エネルギー科学研究科
台湾	国立台湾大学 National Taiwan University	医学研究科(社会健康医学系専攻) 農学研究科 経営管理教育部
タイ	チュラロンコン大学 Chulalongkorn Univeristy	医学研究科(社会健康医学系専攻) エネルギー科学研究科
	カセサート大学 Kasetsart Univeristy	農学研究科
	キングモンクット工科大学トンブリ校 King Mongkut's University of Technology Thonburi	エネルギー科学研究科
	マヒドン大学 Mahidol University	医学研究科(社会健康医学系専攻) 地球環境学舎 農学研究科
米国	コーネル大学 Cornell University	経営管理教育部
フランス	ボルドー大学 University of Bordeaux	エネルギー科学研究科
	フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS) L'École des hautes études en sciences sociales (EHESS)	文学研究科
ドイツ	ハンブルク大学 Universität Hamburg	経営管理教育部
英国	グラスゴー大学 University of Glasgow	経済学研究科

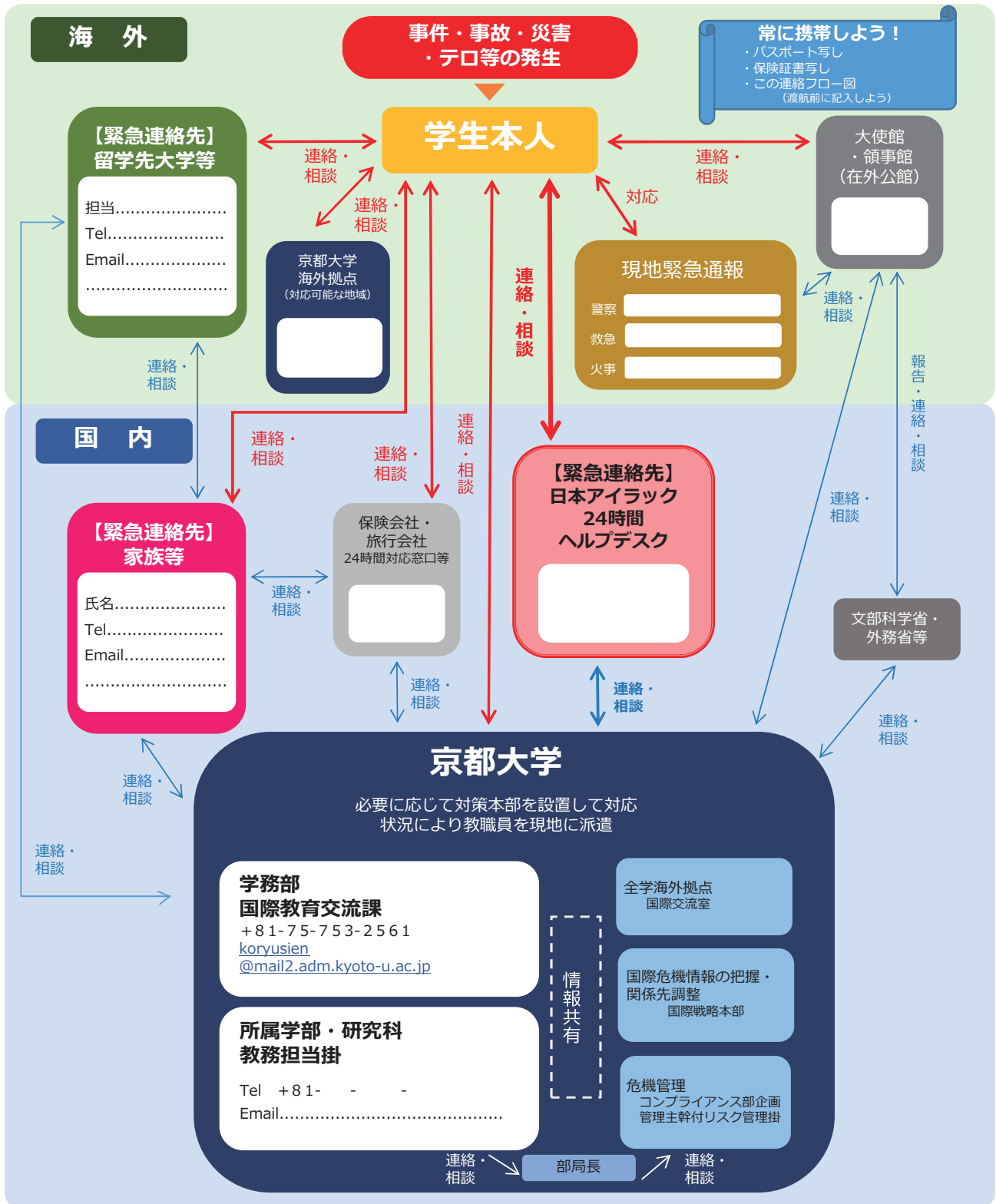
ジョイント・ディグリー協定一覧

2025年12月1日現在

国・地域	協定校名	実施部局名
カナダ	マギル大学 McGill University	医学研究科
ドイツ	ハイデルベルク大学 Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg	文学研究科
スペイン	バルセロナ大学 University of Barcelona	経済学研究科
英国	グラスゴー大学 University of Glasgow	

海外での危機発生時連絡フロー

留学・研修先等で事件・事故等が発生した場合の連絡体制
いざという時のために連絡先を把握しておこう



海外での危機発生時連絡フロー

留学関連リンク集

1. 一般的な情報

日本学生支援機構(JASSO) <https://www.jasso.go.jp/>
外務省 駐日外国公館 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblast/>
外務省 在外日本公館 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/zaigai/>

2. 奨学金・ローン

日本学生支援機構(JASSO) 海外留学支援サイト <https://ryugaku.jasso.go.jp/>
助成財団センター <https://www.jfc.or.jp/>
日本政策金融公庫 教育一般貸付(国の教育ローン) <https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>
トビタテ!留学 JAPAN <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/>
京都大学 海外へ留学する京大生向け奨学金 <https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/scholarships/>

3. 主な語学・学力テスト

日本学生支援機構(JASSO) 主な語学・学力テスト情報 https://ryugaku.jasso.go.jp/link/link_exam.html
TOEFL(英語) <https://www.jp.ets.org/toefl.html>
IELTS(英語) <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts>
DELFDALF(フランス語) <https://delfdalf.jp/ja/accueil/>
ゲーテ・ドイツ語検定試験(ドイツ語) <https://www.goethe.de/ins/de/ja/prf.html>
HSK(中国語) <https://www.hskj.jp/>
DELE(スペイン語) https://tokio.cervantes.es/jp/dele_diplomas/information_diplomas_spanish.htm
TOPIK(韓国語) <https://www.kref.or.jp/topik/>
英語圏語学・留学系資格試験一覧 https://www.prometric-jp.com/examinee/test_list/

4. 海外安全・生活情報

外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>
渡航登録サービス <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>
厚生労働省検疫所 <https://www.forth.go.jp/index.html>
日本検疫衛生協会 <https://kenekieisei.or.jp/>
学研災付帯海外留学保険(付帯海学) <https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/process/preparation/insurance/>

5. ボランティア・インターンシップ留学

JICAインターンシップ・プログラム <https://www.jica.go.jp/about/recruit/intern/index.html>
青年海外協力隊 <https://www.jica.go.jp/volunteer/application/long/>
国連ボランティア計画(UNV) <https://unv.or.jp/>
日欧産業協力センター <https://www.eu-japan.eu/>
日本ワーキングホリデー協会 <https://www.jawhm.or.jp/>
アイセック・ジャパン <https://aiesec.jp/>
IAESTE(イアエステ)JAPAN <https://www.iaeste.or.jp/>
外務省 ワーキング・ホリデー渡航者のトラブル事例と安全対策 https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/working.html

6. その他京都大学関連

京都大学 海外留学情報ポータルサイト <https://studyabroad.opir.kyoto-u.ac.jp/>
京都大学 i-ARRCポータルサイト <https://www.i-arc.k.kyoto-u.ac.jp/>
京都大学 海外拠点ウェブサイト <https://www.oc.kyoto-u.ac.jp/overseas-centers/>
ハイデルベルク大学京都オフィス https://www.uni-heidelberg.de/kyoto-office/index_jp.html
京都大学同窓会(海外) <https://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学 学務部 国際教育交流課

2026年3月発行

Email outbound.exchange@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp